



LoadMaster

リリースノート

製品概要

バージョン 27.0

2017年12月

目次

著作権

Copyright © 2002-2016 KEMP Technologies, Inc.

原文(英語)の著作権は KEMP Technologies Inc.が保有しています。日本語として翻訳したドキュメントの著作権は FXC 株式会社が保有しています。

KEMP Technologies および KEMP Technologies のロゴは、KEMP Technologies Inc.の登録商標です。

KEMP Technologies Inc.は、ソフトウェアおよび英語版のドキュメントを含む LoadMaster 製品と KEMP 360、ライセンスすべての所有権を保有します。

KEMP Technologies と FXC 株式会社は、本ドキュメントについて次の行為を禁止しま。

電子ファイルを複製する行為。

コンテンツを紙媒体に印刷する行為。

電子媒体、及び紙媒体に印刷したコンテンツを販売、頒布する行為。

インターネット媒体を使って展示陳列する行為。

※ なお、お客様自身の利用が目的で行う複製や印刷はこの限りではありません。

本製品は、正当な許可を得て、米国特許 6,473,802、6,374,300、8,392,563、8,103,770、7,831,712、7,606,912、7,346,695、7,287,084 および 6,970,933 を使用しています。



目次

目次

1	ソフトウェアリリースノート概要	6
2	リリース 7.2.40	8
3	リリース 7.2.39.1	14
4	リリース 7.2.39	18
5	リリース 7.2.38	25
6	リリース 7.2.37.1	29
7	リリース 7.2.36.2	36
8	リリース 7.2.36.1	37
9	リリース 7.1.35.4 (ロングターム サポート (LTS))	42
10	リリース 7.1.35.3	45
11	リリース 7.1.35.2	48
12	リリース 7.1.35	49
13	リリース 7.1.34.1	55
14	リリース 7.1-32a	61
15	リリース 7.1-30a	65
16	リリース 7.1-30	66
17	リリース 7.1-28b	70
18	リリース 7.1-28a	72
19	リリース 7.1-28	74



目次

20	リリース 7.1-26c	78
21	リリース 7.1-26	79
22	リリース 7.1-24b	82
23	リリース 7.1-24a	84
24	リリース 7.1-22b	87
25	リリース 7.1-22	89
26	リリース 7.1-20d	92
27	リリース 7.1-20a	93
28	リリース 7.1-18b	96
29	リリース 7.1-16b	99
30	リリース 7.1-16	100
31	リリース 7.0-14c	102
32	リリース 7.0-14a	103
33	リリース 7.0-14	104
34	リリース 7.0-12a	106
35	リリース 7.0-10i	108
36	リリース 7.0-10h	109
37	リリース 7.0-10g	110
38	リリース 7.0-10f	111
39	リリース 7.0-10e	112
40	リリース 7.0-10d	113



目次

41	リリース 7.0-10	114
42	リリース 7.0-8e	116
43	リリース 7.0-8a	117
44	リリース 7.0-8	118
45	リリース 7.0-6	120
46	リリース 7.0-4	122
	Document History	124



1 ソフトウェアリリースノート概要

本ドキュメントでは、現在および過去にリリースされた LoadMaster の機能について説明します。

ソフトウェアをアップグレードする前に、LoadMaster の設定を全てバックアップすることを推奨します。
LoadMaster のバックアップ方法は、以下の url を参照して下さい。
<http://kemptechnologies.com/documentation>

本ソフトウェアのインストールと設定の再読み込みは、最大 5 分（場合によってはそれ以上）かかります。
LoadMaster のアップグレードの間はサービスが停止します。

1.1 前提条件

ソフトウェアをアップグレードする場合、以下のことを推奨します。

- ネットワーク管理者または同等の知識を持つ方がアップグレードしてください。
- バックアップした設定の復元に関して問題が発生した場合、または、LoadMaster の設定やその他メンテナンスに関する問題が発生した場合は、<http://kemptechnologies.com/documentation> にあるドキュメントを参照してください。

1.2 サポート

ソフトウェアをロードできない場合、KEMP のサポートスタッフにお問い合わせください。KEMP のサポートエンジニアが直ちに対応致します：<http://kemptechnologies.com/load-balancing-support/kemp-support>



1.3 互換製品

- LM-2000
- LM-2200
- LM-2400
- LM-2600
- LM-3600
- LM-5300
- LM-5305
- LM-5400
- LM-5000
- LM-5600
- LM-8000
- LM-8020 (バージョン 7.1-30 以降)
- LM-R320
- VLM-100
- VLM-200
- VLM-Exchange
- LM-Exchange
- LM-3000
- LM-4000
- VLM-1000
- VLM-2000
- VLM-5000
- VLM-DR
- LM for UCS B シリーズ
- LM for UCS C シリーズ
- LM for Oracle Sun x86 サーバ
- LM for HP ProLiant サーバ
- LoadMaster for Fujitsu Primergy
- LoadMaster for Dell R シリーズ
- LoadMaster for AWS
- LoadMaster for Azure



2 リリース 7.2.40

ファームウェアバージョン 7.2.40 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 11 月 1 日にリリースされました。

2.1 新機能

7.2.40 で以下の機能を追加しました：

- アクティベーション サーバ ローカル (ASL) の LoadMaster に Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) コマーシャルルールと GEO IP ブラックリスト ルールのダウンロード機能を追加
- KEMP による外部のナレッジ サービスを LoadMaster Web ユーザ インターフェイス (WUI) のヘルプメニューオプションとして提供

2.2 機能拡張

- コールホーム機能は、LoadMaster の初期のアクティベーションでオプトアウト方式により実行します。
- 次の OWASP セキュア HTTP 応答ヘッダを LoadMaster に追加しました。：「X-Frame-Options」、「X-XSS-Protection」、「X-Content-Type-Options」、「HSTS Strict-Transport-Security」
- バーチャルサービスとその配下のすべての SubVS を簡単に削除する機能を追加しました。
- リアルサーバの機能拡張：
 - バーチャルサービスと SubVS を構成するときに、利用可能なリアルサーバのリストから選択する機能を追加しました。
 - 「Real Servers」画面では、列ラベルをクリックしてリアルサーバのアドレスやステータスの列をソートできます。
 - SubVS にリアルサーバを追加すると、チェックボックスが表示され、メインのバーチャルサービスの他のすべての SubVS にそのリアルサーバを割り当てることになりました。
- オンライン証明書ステータスプロトコル (OCSP) サーバに DNS 名を使える機能を追加しました。
- SAML 認証で、レイヤ 7 を保持することで、元の要求の URL が提供されます。この URL は SAML レスポンスのリンク先 URL よりも優先されます。



リリース 7.2.40

- FQDN でリアルサーバを指定するように改善しました。これに伴い DNS 更新間隔の設定が可能になりました。また、FQDN がリアルサーバの IP アドレスに関連付けられている状態でヘルスチェックがエラーになると、ときに、「Reload DNS Entries for Real Server Errors」機能で DNS エントリの再ロードできるようにしました。
- OCSP サーバの接続が失敗すると、エラーログを出力するようになりました。

2.3 解決した問題

PD-9886	Azure 版の VLM (バーチャル LoadMaster) のログで、初期のブート パスワードのセキュリティ問題を修正しました。
PD-9838	すべてのセッション ID が印刷されてしまうというセキュリティの問題が修正されました。今は、セッション ID の一部を印刷します。
PD-9837	「Password or Client certificate」(パスワードかクライアント証明書での認証) モードでの WUI 管理者ログインの問題を修正しました。
PD-9768	「Logon Transcode」オプションと ESP が有効になっているときのセキュリティの問題を修正しました。
PD-9892	SNORT ルールが適用されない問題を修正しました。
PD-9889	リアルサーバ接続に HTTP/2 接続が存在する場合、透過性は削除されます。
PD-9972	エッジセキュリティ パック (ESP) のグループ共通名とドメイン名は最大 127 文字です。
PD-9898	一部の GEO 機能が機能しなくなる設定破損の問題を修正しました。
PD-9865	GEO の IP ブラックリスト ルールの自動更新を妨げる問題を修正しました。
PD-9861	ログアウトせずに終了したセッションを再度オープンすると、ESP はユーザに再認証を強制します。
PD-9795	SAML 応答のデコードがエラーとなる原因を修正しました。
PD-9770	ESP ログにいくつかの情報を追加しました。
PD-9761	より多くの接続をサポートするように機能を拡張しました。
PD-9743	デフォルト ルールでコンテンツ スイッチが有効なバーチャルサービスのテンプレートをエクスポートするときの問題を修正しました。
PD-9666	Apache 2.4 では扱わない HTTP ヘッダ名のアンダースコアの問題を修正しました。
PD-9633	HTTP/1.1 を使用して「Checkhost」でポート番号を使用可能にする問題を修正しました。



リリース 7.2.40

PD-9517	認証許可を設定したグループは、正常なユーザ名を適応します。
PD-9508	ESPとSAMLでは、SAML 応答の証明書は SAML の SSO ドメインに割り当てられた証明書と一致しなければなりません。これにより、信頼できる証明書の解決を制限します。
PD-9470	LDAP のリアルサーバヘルスチェックの問題を修正しました。
PD-9453	Azure でデフォルトゲートウェイとネームサーバの ping は動作をサポートしていないため削除しました。
PD-9359	ESP で一部のユーザの認証ができない問題を修正しました。
PD-9159	Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドのトラフィックをブロックする問題を修正しました。
PD-10107	一定のシナリオで、最初のライセンス処理で WAF を無効になる問題を修正しました。
PD-10089	一定の状況で WAF 「Process Responses」が無効になる問題を修正しました。
PD-10062	OCSP 設定で誤った FQDN がある場合のエラー処理が改善されました。
PD-9995	SharePoint か OWA にユーザがアクセスできないクライアント証明書の問題を修正しました。
PD-9908	ESP 「steering groups」の問題を修正しました。
PD-9903	Azure VLM とプライベート IP アドレスで複数の Network インターフェースカード (NIC) に関する問題を修正しました。
PD-9869	「replacement text」フィールドに「空白」があるとルールが削除される問題を修正しました。
PD-9867	グローバル接続のタイムアウトがバーチャルサービスで発生しない問題を修正しました。
PD-9857	「RS drop on fail」を使用すると HTTP/2 がクラッシュするという問題を修正しました。
PD-9845	ローカル証明書の生成で、アラビア文字の互換性を改善しました。
PD-9783	ハイアベイビリティ (HA) ステータス アイコンのテキストに誤った IP アドレスが表示される問題を修正しました。
PD-9758	一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできない問題を修正しました。
PD-9747	HA で、証明書認証と KEMP 360 の操作ができない問題を修正しました。
PD-9604	コンテンツルールが SubVS に正しく適用されないというインポートの問題を修正しました。
PD-9590	サブスクリプションの有効期限をより正確に表示するように改善しました。
PD-9657	LoadMaster は、特殊文字を含む Cipher 名称を正しく扱うようにしました。



リリース 7.2.40

PD-9643	Azure で、IP の一致が見つからない場合でも、IP アドレスのマッピングを許可し、IP アドレスを変更する機能を追加する修正をしました。
PD-9560	HA モードで、シェアード IP アドレスをクリックしたときのエラー処理を改善しました。
PD-9383	KEMP 360 の動作でパスワードの特殊文字に対するエラー処理を改善しました。
PD-8227	GEO の IP ブラックリストにネットワーク/アドレスを追加できない問題を修正しました。
PD-7157	WAF と Kerberos 認証 (KCD) の両方で、OWA と SharePoint を使用しているときにファイルが添付できないという問題を修正しました。
PD-8413	テンプレートにワイルドカードポートがある場合、エラーが発生する問題を修正しました。
PD-9489	CPU とネットワークの使用状況をリセットする API コマンドの問題を修正しました。
PD-9963	KEMP 360 でアクティベーションサーバーローカル (ASL) 機能と相互に作用する PowerShell API ラッパーに加えた修正をしました。
PD-9883	API を使用して特定のポートを持つバーチャルサービスを作成するときのエラー処理を改善しました。
PD-9836	パスワードにポーランド語の文字セットを使用するときの RESTful API の互換性を改善しました。
PD-9781	PowerShell API の「New-AdcContentRule」と「Set-AdcContentRule」コマンドで、欠落していたパラメータを追加しました。
PD-9779	WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」の ESP パラメータが一致しました。
PD-9771	RESTful API が、disabled/down 状態のバーチャルサービスで間違ったステータスを報告する問題を修正しました。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、間違ったインターフェイス値を表示する問題を修正しました。
PD-9360	RESTful API を使用して、「Type」に「All」、「Base」、「Base + VS」、「Base + Geo」でバックアップを復元するとクラッシュする問題を修正しました。
PD-9349	PowerShell API ラッパーコマンド「Get-AslLicenseType」を新しい ASL の動作に関連して問題を修正しました。
PD-7978	PowerShell API コマンド「New-TlsHSMClientCert」で、「LoadBalancer」と「Credential/SubjectCN」パラメータを使用するとエラーが発生する問題を修正しました。
PD-9129	API のバックアップコマンドでレスポンスフォーマットに関する問題を修正しました。



リリース 7.2.40

2.4 既知の問題

-
- PD-10141 「Service check interval」の設定で、接続が切断することがあります。
-
- PD-10193 WAF、ESP、KCD の設定で Microsoft Exchange 2010 はサポートしていません。
-
- PD-10126 キャッシュの問題でコネクションに問題が発生します。
-
- PD-10086 新しいインターフェイスで「Use Default Gateway」オプションを選択すると、LoadMaster WUI へのアクセスが失われますが、ローカル IP アドレスを使用している LoadMaster ではアクセスができてしまいます。
-
- PD-10083 SNMP を使用すると、多数の仮想サービス/サブ AVS が表示されるという問題があります。
-
- PD-10080 デフォルトゲートウェイを使って設定したボンディングインターフェイスでフェールオーバーが発生します。
-
- PD-10042 WAF の統計情報はバーチャルサービスを削除したときにリセットされません。
-
- PD-10040 WAF は、POST ボディにエンコードしたチャンク転送をサポートしません。
-
- PD-10039 HTTP/2 機能は、Internet Explorer (IE) ブラウザでのみサポートします。
-
- PD-9975 「WUI Authentication and Authorization」ページの「Test AAA for User」を使用して LDAP ベースのユーザをテストすると、ログは生成されず syslog にも表示されません。
-
- PD-9764 LoadMaster は Azure クラシック/Azure Resource Manager (ARM) のエンドポイントに IPsec トンネルを設定できません。
-
- PD-8697 一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール (HSM) を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
-
- PD-10188 Safari ブラウザでバーチャルサービスか SubVS にリアルサーバを追加すると、使用可能なリアルサーバのリストを使用できません。
-
- PD-10131 WAF と Kerberos 認証 (KCD) のプロセスレスポンスが有効な場合、SharePoint でのファイル添付に問題があります。
-
- PD-10159 7.1.35.x からファームウェアをアップグレードすると、CPU とネットワークの利用状況グラフが表示されません。この問題の回避は、WUI で統計をリセットすることです。
-
- PD-10143 KCD が有効で、WAF の「Process Responses」オプションと「creditcard_track_pan」ルールが有効な場合、アクセスできません。
-



リリース 7.2.40

PD-9375	SAML 認証を使用している場合、SharePoint の Microsoft Office ファイルは Firefox と Chrome で動作しません。
PD-10095	L7 デバッグを有効にすると、一定の状況で VLM (Virtual LoadMasters) が再起動することがあります。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9476	インストール済みのカスタムルール データファイルを取得/表示するための RESTful API コマンドはありません。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。



リリース 7.2.39.1

3 リリース 7.2.39.1

ファームウェアバージョン 7.2.39.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 9 月 6 日にリリースされました。

3.1 機能拡張

- LoadMaster for AWS (Amazon Web サービス) に LoadMaster Service Provider License Agreements (SPLA) のサポートしました。
- エッジセキュリティ パック (ESP) の接続ログの機能を拡張しました。

3.2 解決した問題

PD-9872	ルールが有効になっているときに Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) が特定のリクエストをブロックしないという問題を修正しました。
PD-9879	UDP 接続で遅延が発生する問題を修正しました。
PD-9844	LoadMaster が再起動する問題を修正しました。

3.3 既知の問題

PD-9892	SNORT ルールが適用されない問題があります。
PD-10155	設定情報の破損で一部の GEO 機能が動作しない問題があります。
PD-9886	Azure クラウドのデプロイで定義したパスワードがログに表示されます。ノート：この問題を緩和するため、Azure のデプロイで設定したパスワードを変更することを強く推奨します。
PD-9657	名称に - または + を使用した Cipher セットでいくつかの問題が発生しています。
PD-9908	ESP 「steering groups」が期待どおりの振舞いをしません。
PD-9903	Azure VLM にプライベート IP アドレスを追加すると、複数のネットワークインターフェイスカード (NIC) がある場合にのみ動作します。



リリース 7.2.39.1

PD-9898	GEO IP 範囲選択クエリは、一定のシナリオでは拒否します。
PD-9869	「replacement text」フィールドに「空白」を追加すると、ルールが削除される問題があります。
PD-9867	グローバル接続でデフォルトのタイムアウト値の一部で問題があります。
PD-9865	GEO の IP ブラックリストの自動更新の一部に問題があります。
PD-9861	ESP の使用で、Outlook Web Access (OWA) にいくつかのセキュリティ問題があります。
PD-9857	「RS drop on fail」を使用すると HTTP/2 コネクションがカーネル パニックの原因になっています。
PD-9837	「Password or Client certificate」(パスワードかクライアント証明書での認証) モードでの WUI 管理者ログインが機能しません (bal ユーザを除く)
PD-9795	セキュリティアサーション マークアップ ランゲージ (SAML) 認証を使用すると、いくつかの Base64 証明書のデコードが失敗します。
PD-9770	ESP のログで、いくつかの情報が記録されないことがあります。
PD-9768	ログオンのコード変換オプションに関連した SSO デバッグログでセキュリティの問題があります。
PD-9761	より多くの接続を行うと一部に問題が発生します。
PD-9758	SAML か KCD の認証を使用している場合、一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないことがあります。
PD-9747	HA ペアで証明書認証を行うといくつかの問題が発生します。
PD-9743	デフォルト ルールの割り当てで、テンプレートファイルのインポートに問題が発生します。
PD-9666	Apache 2.4 ではアンダースコアのあるヘッダを受け付けません。
PD-9643	LoadMaster Azure でバーチャル サービスの IP アドレスを変更できません。
PD-9633	WUI を接続するポートで「check host」を設定できません (API か CLI で動作します) 。
PD-9604	一部のカスタムテンプレートをインポートで問題が発生します。
PD-9517	パスワードが期限切れで、許可されたグループが使用されている時、一部のユーザを認証できません。
PD-9508	ESP は、ルート証明書の使用時のみ SAML assertions を検証します。
PD-9504	マルチテナントの LoadMaster で HA フェールオーバーの問題を抱えるユーザがいます。
PD-10159	ファームウェアをアップグレードすると、CPU とネットワークの利用状況グラフが表示されません。この問題の回避は、WUI で統計をリセットすることです。



リリース 7.2.39.1

PD-9453	一部の Azure ユーザでライセンスの問題が発生しています。原因はデフォルト ゲートウェイとの通信上の問題によるものです。
PD-9383	ローカル LoadMaster のユーザ認証で特殊なスペース文字に関する問題が発生します。
PD-9359	一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。
PD-9159	WAF が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドにトラフィックが無いことがあります。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール (HSM) を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-9470	LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックが最適に動作しません。
PD-9883	API コマンド「addvs」は、LoadMaster Web ユーザーインターフェイス (WUI) と同じ IP アドレスとポート番号上にバーチャルサービスを誤って作成します。
PD-9864	「WUI Session Management」の「Require Basic Authentication」が有効な時に、マルチテナント LoadMaster の API が機能しません。
PD-9779	WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」のパラメータが一致していません。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、設定の無いインターフェイスの出力に間違ったインターフェイス値を表示します。
PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9523	特定のシナリオでは、RESTful API は存在しない GEO の FQDN を取得した時に成功メッセージを返します。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを取得/表示するための RESTful API コマンドはありません。
PD-9129	バックアップを行う API コマンドに、PowerShell ラッパー接続を切断する問題があります。



リリース 7.2.39.1

PD-7156 一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。

PD-10160 CPU とネットワークグラフをリセットする API コマンドが機能しません。



4 リリース 7.2.39

ファームウェアバージョン 7.2.39 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 8 月 2 日にリリースされました。

4.1 新機能

7.2.39 で以下の機能を追加しました：

- レスポンス ボディの変更ルールを追加
- HTTP/2 のサポート
- Azure Marketplace シンジケーションによる Azure Stack TP3 のサポート
- 以下のアプリケーションで、バーチャル サービスを設定、登録するためのテンプレートを提供：
 - Aequitas
 - Cerner Health
 - eClinicalWorks
 - Horizon Flex
 - Seclore
 - NextCloud
- クラウド環境下の HA 機能を拡張

4.2 機能拡張

- OpenSSH のバージョンを 7.5.p1. にアップデートしました。
- エッジ セキュリティ パック (ESP) のコネクションログ機能を拡張しました。
- マイクロソフト Exchange 2010 について、フォームによる認証を追加しました。
- 選択可能な ESP のシングル サイン オン (SSO) 設定オプションを追加しました。
- PowerShell モジュールをマイクロソフト標準に準拠しました。

PowerShell モジュールは、KEMPTechnologies が供給する前世代の PowerShell モジュールとの互換性はありません。



リリース 7.2.39

- Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) のストレージへのログングを最適化しました。

4.3 解決した問題

PD-9627	Web ユーザ インターフェイス (WUI) 内での cookie 値の表示を中止しました。
PD-9588	VLAN インターフェイスで、シェアード IP のアドレス変更が可能になりました。
PD-9556	GEO のカスタム ローケーションの問題を修正しました。
PD-9551	GEO で、アンダースコアを含む FQDN 名の設定が可能になりました。
PD-9549	WAF の利用時に、一部のユーザが一部の仮想サービスにアクセスできない問題を修正しました。
PD-9522	SSL の再暗号化が有効なときにコンテンツルールが消失する問題を修正しました。
PD-9492	LM-5600 モジュールで、リポート後に構成情報が消失する問題を修正しました。
PD-9457	完了パケットの送受信でエラーが発生する問題を修正しました。
PD-9456	アンダースコア付きのユーザ名を使用できるように SCP の自動バックアップ処理を修正しました。
PD-9450	OCSP が特定のシナリオで有効なユーザを許可しない問題を修正しました。
PD-9402	RSA 認証を使用して異なるブラウザで異なるアプリケーションにログインすると、ユーザ コネクションが切断される問題を修正しました。
PD-9401	「Drop Connections on RS failure」で RAM の使用率が高くなる問題を修正しました。
PD-9393	SSO マネージャのメモリの問題を修正しました。
PD-9389	SNORT ルールの稼働中に L7 の初期化を妨げる問題を修正しました。
PD-9362	仮想サービスで有効であるにもかかわらず、リアル サーバが強制的に無効状態になってしまう問題を修正しました。
PD-9335	サーバ側の SSO ドメインで消失を防ぐ問題を修正しました。
PD-9290	SSO マネージャのログで推奨されないオプションを削除しました。
PD-9258	ファームウェア アップグレード後に一部のユーザが LoadMaster にアクセスできなくなる問題を修正しました。
PD-9253	パッシブユニット内の WAF に関連する不要なログを削除しました。



リリース 7.2.39

PD-9239	バーチャルサービスの UDP syslog パーシステンスが変更されたときに LoadMaster が再起動するとう問題を解決しました。
PD-9236	MELA (メータド エンタープライズ ライセンス アグリーメント) 版 LoadMasters の HA 構成で 5 分ごとにネットワーク障害が発生する問題を修正しました。
PD-9229	ファームウェア アップグレードすると、ユニットの再起動後に応答が無い状態になる問題を修正しました。
PD-9218	LDAP の資格情報を使用して WUI にサインインができないという問題を修正しました。
PD-9206	フォームの認証によるサーバ パスワードで特殊文字を扱えるように改善しました。
PD-9183	特定状況でのセグメンテーション違反の問題を解決しました。
PD-9160	WAF が 1MB を超えるファイルのアップロードをブロックする問題を修正しました。
PD-9158	「Send SNMP traps from the shared address」オプションが有効であるのに、shared IP からではなく個別 IP から SNMP トラップが発生する問題を修正しました。
PD-9154	Exchange 2010 の OWA 有効期限切れパスワード機能の問題を修正しました。
PD-9136	クラスタ モードでの再暗号化でサブネット オリジネーティングの問題を修正しました。
PD-9133	一部のライセンスの応答情報をログレベルで修正しました。
PD-9123	ルール選択でデフォルト コンテンツルールが選択できない問題を修正しました。
PD-9121	クライアント証明書の認証に関する問題を修正しました。
PD-9114	アンダースコア含むホスト名があると電子メールのアラートが機能しない問題を修正しました。
PD-9112	WAF のリアルタイム統計に SubVS の IP アドレスを表示しない問題を修正しました。
PD-9107	LDAP を使った認証の問題を修正しました。
PD-9074	宛先 IP アドレスと ESP セッション管理に関連するエラーメッセージを改善しました。
PD-9062	ヘルスチェックの失敗が同時発生する問題を修正しました。
PD-9059	GEO のエラーハンドリングを改善しました。
PD-9045	メールのロギングで MAIL FROM もしくはカレント ホスト名を使用しない問題を修正しました。
PD-9041	特定の Web 機能が原因となる WAF の問題を修正しました。
PD-9039	HA ペアのフェールオーバーが 2 回発生したときに WAF がバーチャル サービスを切断する問題を修正しました。



リリース 7.2.39

PD-8986	特定の状況下でダウンロード速度が遅くなる問題を修正しました。
PD-8915	Hyper-V のライブ マイグレーションに関する問題を修正しました。
PD-8896	SAML 認証を使用中に、一部の利用者が SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないという問題を修正しました。
PD-8558	テンプレートを使用したセットアップで、バーチャルサービスを介した Outlook クライアントの接続が遅くなるという問題を修正しました。
PD-8320	HP の SDN コントローラから SDN に接続できない問題を修正しました。
PD-9384	「Enable Session Management」チェックボックスのホバーテキスト内の文字誤りを修正しました。
PD-9356	Syslog エントリはもう複製されません。
PD-9181	SCP 自動バックアップキーの一部が露出していた問題を修正しました。
PD-9174	コンソールでの FTP を使用したバックアップできない問題を修正しました。
PD-8953	「Allow Administrative WUI Access」チェックボックスラベルでスペル誤りを修正しました。
PD-7265	シェアード IP アドレスを変更したときに、IP アドレスにリダイレクトするようになりました。
PD-9285	無効な LDAP EP で wuildapep パラメータを設定したときのレスポンス コードを修正しました。
PD-9153	mlogc (ModSecurity Log Collector) で受け付けることで、SubV 生成の WAF イベントが止まる問題を修正しました。
PD-9151	「Reset Statistic Counters」オプションで、WAF の統計をリセットできるようになりました。
PD-9060	WAF のリモートログを無効にすると、一部の mlogc (ModSecurity Log Collector) インスタンスの CPU 使用率が 100%になる問題を修正しました。
PD-8969	初期設定で、WAF の自動インストールが動作しない問題を修正しました。
PD-8968	KVM ベースの LoadMaster で、HA シェアード IP アドレスを変更すると、リブートせずに変更できるようになりました。
PD-8750	マルチインターフェースアクセスを変更すると発生する、WUI のアクセス問題を修正しました。
PD-9624	CVE-2017-8890 の脆弱性の対策を施しました。
PD-9355	特定のシナリオでクライアント証明書を使用した認証の問題を修正しました。
PD-9096	毎日、圧縮した ESP の拡張ログファイルを自動で生成するようになりました。



リリース 7.2.39

PD-8958	OWA にログインするクライアント SAML の SSO ユーザのセッションが表示できるようになりました。
PD-8413	テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できるようになりました。
PD-8196	RESTful API コマンド「enablewafremotelogging」によるエラー ハンドリングを改善しました。
PD-8118	API を使用して GEO 更新インターフェイスを取得するパラメータを追加しました。
PD-8107	API を使って強制的に NTP を更新するオプションを追加しました。
PD-7613	より多くのパラメータを表示する API コマンド「showiface」を改善しました。
PD-9176	Azure の EULA API の出力を改善しました。
PD-9099	「delintermediate」API コマンドの問題を修正しました。
PD-8727	It is possible to delete the IP range using the API (even if it includes IPv6). API (IPv6 を含む) を使用して IP 範囲を削除できるようにしました。
PD-9593	RESTful API を使った HA のシェアード IP アドレスの設定に於いて、ベース IP アドレスへの接続の問題を修正しました。
PD-9581	PowerShell の「Set-GeoMiscParameter」コマンドの出力に関する問題を修正しました。
PD-9439	「Set-LmHAMode」コマンドの出力に関する問題を修正しました。
PD-9378	RESTful API を使用して、未知のバーチャル サービスにホワイト/ブラックのリストアドレスを追加する際のエラーを改善しました。
PD-9132	API を使用した設定のリストアを機能します。
PD-9346	PowerShell コマンドの「Uninstall-LmPatch」を修正しました。
PD-9343	RESTful API を使用して存在しない LoadMaster アドオンを削除する際のエラーが改善しました。
PD-9260	RESTful API を使用してローカルユーザーのパスワードを変更できるようにしました。
PD-9255	RESTful API コマンドの「uploadsamlidpmd」で、エラー処理を改善しました。
PD-9148	RESTful API を使用して電子メールサーバ ポートと Syslog サーバ ポートの設定を解除できるようになりました。
PD-9108	RESTful API を使って存在しないルートを削除する際のエラー処理を改善しました。



4.4 既知の問題

PD-9793	バーチャル サービスで WAF の適切なルールの割当てをしても、攻撃のトラフィックやリクエストをブロックしない問題では、「Inspect HTML POST Request Content」チェックボックスをオンにする必要があります。
PD-9758	SAML か KCD の認証を使用している場合、一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないことがあります。
PD-9770	ESP のログで、いくつかの情報が記録されないことがあります。
PD-9159	WAF が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドにトラフィックが無いことがあります。
PD-9666	Apache 2.4 ではアンダースコアのあるヘッダを受け付けません。
PD-9660	LoadMaster は、一部のシナリオで RADIUS パスワードを変更します。
PD-9633	WUI を接続するポートで「check host」を設定できません（API か CLI で動作します）。
PD-9517	パスワードが期限切れで、許可されたグループが使用されている時、一部のユーザを認証できません。
PD-9508	ESP は、ルート証明書の使用時のみ SAML assertions を検証します。
PD-9504	マルチテナントの LoadMaster で HA フェールオーバーの問題を抱えるユーザがいます。
PD-9489	ファームウェアのアップグレード後に CPU とネットワークの使用状況がグラフ表示されません。
PD-9470	LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックが最適に動作しません。
PD-9453	一部の Azure ユーザでライセンスの問題が発生しています。原因はデフォルト ゲートウェイとの通信上の問題によるものです。
PD-9359	一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-9768	ログオンのコード変換オプションに関連した SSO デバッグログでセキュリティの問題があります。
PD-9657	名称に - または + を使用した Cipher セットでいくつかの問題が発生しています。
PD-9643	LoadMaster Azure でバーチャル サービスの IP アドレスを変更できません。
PD-9604	一部のカスタムテンプレートをインポートで問題が発生します。
PD-9747	HA ペアで証明書認証を行うといくつかの問題が発生します。



リリース 7.2.39

- | | |
|---------|---|
| PD-9383 | ローカル LoadMaster のユーザ認証で特殊なスペース文字に関する問題が発生します。 |
| PD-7157 | WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。 |
| PD-7156 | 一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。 |
| PD-9575 | 一部の API コマンド「aclcontrol」に問題があります。 |
| PD-9129 | バックアップを行う API コマンドに、PowerShell ラッパー接続を切断する問題があります。 |
| PD-9596 | RESTful API コマンド「showiface」が、設定の無いインターフェイスの出力に間違ったインターフェイス値を表示します。 |
| PD-9572 | RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。 |
| PD-9570 | API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。 |
| PD-9553 | セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。 |
| PD-9539 | 特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。 |
| PD-9525 | API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。 |
| PD-9523 | 特定のシナリオでは、RESTful API は存在しない GEO の FQDN を取得した時に成功メッセージを返します。 |
| PD-9476 | インストールされたカスタムルールのデータファイルを取得/表示するための RESTful API コマンドはありません。 |
| PD-7978 | 「TlsHSMClientCert」コマンドは、「LoadBalancer」と「Credential/SubjectCN」パラメータを使用するとエラーを返します。 |
-



リリース 7.2.38

5 リリース 7.2.38

ファームウェアバージョン 7.2.38 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 4 月 3 日にリリースされました。

5.1 新機能

7.2.38 で以下の機能を追加しました：

- 階層型サブスクリプション ライセンス モデルの導入
- 以下のアプリケーションで、バーチャル サービスを登録するためのテンプレートを提供：
 - Zimbra
 - Deepnet DualShield
 - Luminis (Banner)

5.2 機能拡張

- エッジ セキュリティ パック (ESP) のコネクションログ機能を拡張しました。
- マイクロソフト Exchange 2010 について、フォームによる認証を追加しました。
- 選択可能な ESP のシングル サイン オン (SSO) 設定オプションを追加しました。
- PowerShell モジュールをマイクロソフト標準に準拠しました。
- OpenSSH のバージョンを 7.4p1 にアップデートしました。
- 以下の脆弱性に対応するために OpenSSL のバージョンを 1.0.2k にアップデートしました。
 - CVE-2017-3731
 - CVE-2017-3730
 - CVE-2017-3732
 - CVE-2016-7055
- LoadMaster はより多くの構成情報を KEMP に戻すようにしました。
- OWASP CRS 3.0 のルールをサポートしました。



リリース 7.2.38

- HA ステータス インジケータのホバーテキストを改善しました。
- 自動バックアップで SCP と FTP を使用できるようになりました。
- デバッグ用 API コマンドで XML を出力するように改善しました。

5.3 解決した問題

PD-8602	リアル サーバ名に FQDN を使用すると、ログにはリアルサーバの FQDN と IP アドレスの両方を表示します。
PD-8477	固定の重み付けの設定で、デフォルトのリアル サーバを表示するアイコンを改善しました。
PD-8985	カスタム Cipher セット作成時の問題を修正しました。
PD-8983	ActiveSync の動作が停止する問題を修正しました。
PD-8966	リモート syslog ポートの問題を修正しました。
PD-8947	圧縮が HTTP バーチャル サービスで動作しない問題を修正しました。
PD-8890	エッジセキュリティパック (ESP) ユーザ名フィールドの問題を修正しました。
PD-8846	GEO で、パブリック クライアントにプライベート情報を応答する問題を修正しました。
PD-8771	ログオフでは「IdP Logoff URL」になるべきだが、「IdP SSO URL」を提示していた SAML の問題を修正しました。
PD-8760	LoadMaster は、Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) のルールセットが期限切れであるという誤ったメッセージを表示しないようにしました。
PD-8730	一部のケースで、ESP を使用したクライアント認証ができない問題を修正しました。
PD-8657	PowerSchool の利用で一部のファイルがダウンロードできない問題を修正しました。
PD-8642	自動バックアップが成功したときに、誤ったエラーログが生成される問題を修正しました。
PD-8636	グローバルが無効であっても、FQDN が有効であれば表示する問題を修正しました。
PD-8581	ESP ログがフィルタリングされて表示されない問題を修正しました。
PD-8568	ログファイルを表示するときに不要なエラーメッセージが表示しないようにしました。
PD-8953	Web ユーザーインターフェイス (WUI) のリモートアクセス画面の誤植を修正しました。



リリース 7.2.38

-
- PD-8869 別のバーチャル サービスと競合するエクストラ ポートを追加すると、エラーメッセージを表示するようになりました。
-
- PD-9031 LoadMaster コンソール画面に不要なエラーが表示しないようにしました。
-
- PD-8972 RADIUS サーバ、または RADIUS のシェアード シークレットの値を表示していない問題を修正しました。
-
- PD-8772 LoadMaster コンソールのシリアル番号フィールドを遮断してた問題を修正しました。
-
- PD-8965 ライセンスに Multiple Connect を設定していなくても、TCP Multiple Connect の有効/無効が行えるようにしました。
-
- PD-8014 リモート GEO LoadMasters では、バーチャル サービス アドレスがなくてもマークされます。
-
- PD-8766 「Everywhere」は GEO のローケーション選択で 1 回だけ表示されます。
-
- PD-8713 一部のコンテンツルールの特定のマッチ シナリオで問題を修正しました。
-
- PD-8882 API で Real Server の宛先ポートが設定できない問題を修正しました。
-
- PD-8654 API を使用して HTTP / 1.1 を設定できない問題を修正しました。
-
- PD-8716 API コマンド「showdomainlockedusers」の出力を改善しました。
-
- PD-8545 PowerShell API コマンド「Initialize-LoadBalancer」の問題を修正しました。
-
- PD-8848 PowerShell API コマンド「Request-KEMPLicenseOffline」と「Update-KEMPLicenseOffline」のエラー処理が改善されました。
-
- PD-8988 一部のシナリオでカーネルパニックを引き起こしていた問題を修正しました。
-
- PD-8649 /tmp が部分的にいっぱい（～17%）になったときに、ファームウェアパッチが適用されない問題を修正しました。
-
- PD-8746 ファクトリリセット後の WAF ルールのダウンロード/インストールで発生する問題を修正しました。
-
- PD-8378 API コマンド「istvs」によるエラー処理を改善しました。
-
- PD-8561 API コマンド「createbond」と「unbond」の応答を改善しました。
-
- PD-8357 API で新しいクラスタを追加するときのエラー処理の問題を修正しました。
-
- PD-8992 メールログギングを改善しました。
-
- PD-8656 API コマンド「aslactivate」の問題を修正しました。
-



リリース 7.2.38

- PD-8731 GEO のブラックリスト機能の問題を修正しました。
 - PD-8857 PowerShell API コマンド「Get-LicenseType」の出力を改善しました。
 - PD-8411 PowerShell モジュールファイルのインポート問題を修正しました。
-

5.4 既知の問題

- PD-7265 HA ペアでシェアード IP アドレスを変更すると、新しいシェアード IP アドレスにリダイレクトしません。
 - PD-8413 テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できません。
 - PD-8725 IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
 - PD-8561 API コマンド「createbond/unbond」の実行で、その結果が成功でも、応答しないことがあります。
 - PD-8196 API コマンド「enablewafremotelogging」を使用するとき、リモート URI が無効なフォーマットで設定されることがあります。
 - PD-8118 API を使用して GEO 更新インターフェイスを設定することはできません。
 - PD-8107 API を使用して強制的な NTP 更新を行うことはできません。
 - PD-7613 API コマンド「showiface」と「modiface」では、「Cluster Checks」と「Cluster Updates」オプションは表示されません。
 - PD-7156 一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
 - PD-9070 API を使用したとき、インターバル チェックで正しい値が表示されません。
 - PD-9059 GEO のエラーメッセージに問題があります。
 - PD-8881 Powershell コマンド「Get-Virtualservice」は有効な PS のオブジェクトを戻しません。
 - PD-7265 WUI を使用してシェアード IP を変更するとリダイレクトが発生しません。
-



リリース 7.2.37.1

6 リリース 7.2.37.1

ファームウェアバージョン 7.2.37.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 2 月 7 日にリリースされました。

6.1 新機能

7.2.37.1 で以下の機能を追加しました。

- セキュリティ アサーション マークアップ ランゲージ (SAML) をサポート
- エッジ セキュリティ パック (ESP) のフォームベース認証
- ハードウェアの状態監視
- ドメインネーム システム セキュリティ エクステンション (DNSSEC) をサポート
- バックアップの改善
- 以下のバーチャルサービス アプリケーション用テンプレートを公開：
 - DNS
 - Ellucian Luminis Portal
 - NGINX server
 - Aspera Server
 - TFTP
 - Microsoft Print Server
 - Graylog server

6.2 機能拡張

- リアルサーバへの SSL アクセスで TLS バージョンの選択が可能になりました。
- 自己署名証明書や信頼されないリアルサーバの証明書でも明示的に信頼するようにしました。
- CVE-2016-5195 の脆弱性を改善するためにカーネルを更新しました。
- PowerShell/API を拡張しました：
 - SSO セッション監視
 - HA ステータス



リリース 7.2.37.1

- GEO パートナー ステータス
 - 証明書の管理
 - ライセンス処理
-
- LDAP 認証で、スコープの検索と DN のバインドをサポートしました。
 - NTLM で、グループメンバーシップの LDAP クエリに対応しました。
 - リモート syslog サーバの設定で、宛先ポートの設定ができるようになりました。
 - TLS1.1 と TLS1.2 をデフォルトの暗号化プロトコルにしました。
 - 証明書ベースのクライアント認証のための OCSP をサポートしました。
 - パスワード有効期限切れの検出とリンク変更の表示を ESP で対応しました。
 - ESP を使用した認証で、視認性とセッションの制御性を向上しました。
 - ESP の許可されたグループについて、正規名の代わりにセキュリティ識別子 (SID) が使用できるようになりました。
 - Azure と Amazon Web Services (AWS) 環境ですべての LoadMasters は固有シリアル番号を付与できるようになりました。
 - 以下の脆弱性に対応するために OpenSSL のバージョンを 1.0.2k にアップデートしました：
 - CVE-2017-3731
 - CVE-2017-3730
 - CVE-2017-3732
 - CVE-2016-7055
 - CVE-2016-9131
 - CVE-2016-9147
 - CVE-2016-9444
 - CVE-2016-9778

6.3 解決した問題

PD-8417 X-Forwarded-For ヘッダから括弧を削除しました。

PD-7676 PCRE の上限を 1500 から 3000 にしました。

PD-8010 バーチャルサービスで Web アプリケーションファイアウォール (WAF) を作成したときと、WAF のバーチャルサービスでの制限に達しているときに表示するエラーメッセージを改善しました。



リリース 7.2.37.1

-
- PD-8339 WAF を有効にするテンプレートの機能を拡張しました。

 - PD-8596 FTP の自動バックアップが成功したときに、エラーを発生しないようにしました。

 - PD-8559 ログファイルを表示するときのポップアップ メッセージを削除しました。

 - PD-8531 有効でないパスワード形式でも、カスタムイメージの設定で機能するようにしました。

 - PD-8453 FTP のバックアップの問題を修正しました。

 - PD-8451 特定のシナリオで発生するセグメンテーション違反の問題を修正しました。

 - PD-8439 VLM-1000 のファームウェア バージョンをアップグレードした後にログのエラーが発生する問題を修正しました。

 - PD-8407 ESP クライアントでロックしたユーザーの認証ができない問題を修正しました。

 - PD-8371 SubVS の ESP 接続ログにはリアルサーバを表示します。

 - PD-8341 インターフェイスのボンディングで、MTU サイズを 1500 にリセットすることはありません。

 - PD-8298 IPv6 ルーティングに関連するいくつかの問題を修正しました。

 - PD-8285 いくつかの JavaScript で表示する LoadMaster の警告ログは、ブラウザによって実行されます。

 - PD-8281 Azure のマルチアーム デプロイで、IP アドレス割り当ての問題を解決しました。

 - PD-8205 同じ接続で複数リクエストにマッチするコンテンツルールの問題を修正しました。

 - PD-8200 HA ペアの個々の IP アドレスに対して管理者用証明書の管理は可能です。

 - PD-8101 SAML の応答の問題を修正しました。

 - PD-8097 Firefox と LoadMaster の組合せで WebSocket へアクセスしたときの問題を修正しました。

 - PD-8085 VLAN インターフェイスを変更するときに Web ユーザーインターフェイス (WUI) の管理者用証明書を設定解除する問題を修正しました。

 - PD-8025 SDN アドオンが有効なときにはグラフで情報を表示します。

 - PD-8006 ロケーションベースの選択基準において「everywhere」オプションの問題を修正しました。

 - PD-7789 特定な状況で Web アプリケーションファイアウォール (WAF) を使用すると CPU 使用率が高くなる問題を修正しました。

 - PD-7778 接続数が少ない状況にもかかわらず、特定の事象において SSL のオープンの接続制限に達してしまう問題を修正しました。
-



リリース 7.2.37.1

-
- PD-8597 特定の状況でセグメンテーション違反の原因となった問題を修正しました。

 - PD-8463 SubVS のヘルスチェックで「Critical」オプションを設定できない問題を修正しました。

 - PD-8399 L7 接続のドレイン時間（秒）で API コマンドのコードエラーを修正しました。

 - PD-8320 SDN アドオンから HP の SDN コントローラにユーザ名とパスワードが渡っていない問題を修正しました。

 - PD-8072 エクスポートされたテンプレートをインポートできない問題を修正しました。

 - PD-8430 複数のサーバ環境で LDAP エンドポイント動作を修正しました。

 - PD-8372 SSO ドメインの LDAP ヘルスチェックを無効にする問題を修正しました。

 - PD-8282 システムがディスクエラーを常に報告していた問題を修正しました。

 - PD-8114 ESP と LDAP の組合せで、StartTLS ヘルスチェックが失敗するとバーチャルサービスのステータスが正しくないという報告される問題を修正しました。

 - PD-8030 SNMP が無効になっているにも関わらず、SNMP の詳細を返信する問題を修正しました。

 - PD-8225 LoadMaster のライセンス処理で、不正確な資格情報が使われると正しいエラーメッセージを表示しません。

 - PD-8552 バーチャルサービスの IP アドレスとポート番号の変更で、バーチャルサービスのアクセス許可を持つユーザがアクセスできない問題を修正しました。

 - PD-8086 AWS のバーチャル LoadMaster (VLM) でセッション管理が有効になりました。

 - PD-7998 WUI の管理者パラメータの扱いを改善しました。

 - PD-8112 Sorry Servers で SSL の再暗号化が正常に機能しない問題を修正しました。

 - PD-8397 ヘルスチェック強化で、バーチャルサービスをチェックする GEO クラスタは、ダウン ステータスを正しく報告できます。

 - PD-8296 vRealize の Operations/Orchestrator Manager に対して、カスタム管理ポートでの構成を可能にしました。

 - PD-8549 UI によるテンプレートの追加/削除の許可が修正されました。

 - PD-8083 クラスタ HA モードの取得/設定のために、新しい PowerShell API コマンドを追加しました。

 - PD-8005 Microsoft Service Management Automation (SMA) でエラー原因となった PowerShell API の問題を修正しました。
-



リリース 7.2.37.1

PD-8192	API コマンド「Get-NetworkDNSConfiguration」から不要な出力を削除しました。
PD-7559	API を使用すると、アクセスコントロール リスト (ACL) のブロックとホワイトリストのエントリにコメントを追加できます。
PD-8555	バーチャルサービスのステータスは、API コマンド「stats」でリストします。
PD-8525	PowerShell API コマンド「Set-LmParameter」で、いくつかのパラメータ値を null に設定できるようになりました。
PD-8307	API コマンド「licenseinfo」で TPS とスループット限界を報告するように改善しました。
PD-8305	API コマンド「asactivate」のエラーメッセージを修正しました。
PD-8168	API を使ってハイアベイラビリティ (HA) モードを設定するときの問題を修正しました。
PD-8164	PowerShell の「cmdlets URL」の URL から、資格情報と LoadMaster ポートのパラメータを削除しました。
PD-8080	PowerShell API コマンド「Get-HAOption」から不要な出力を削除しました。
PD-8043	PowerShell API コマンドの結果として、ファイルを保存するときのエラーを改善しました。
PD-8031	LoadMaster HTTP ポートのパラメータを欠落したコマンドに追加しました。
PD-7909	PowerShell API コマンド「Set-GeoFQDN」のエラー処理を改善しました。
PD-8515	特定の PowerShell API コマンドで負荷分散パラメータに FQDN を使用するとエラーが発生する問題を修正しました。
PD-8233	PowerShell API を使用して新しいバーチャルサービスを作成するとき、persistence mode を [none] に設定することは可能です。
PD-8365	存在しないドメイン名が指定しているにも関わらず、RESTful API コマンド「show domain」でドメインの一覧を表示してしまう問題を修正しました。
PD-8363	HA 設定がないとき、API コマンド「getall」が詳細を返さないという問題を修正しました。
PD-8358	PowerShell API コマンド「Add/Remove Cache/Compression」の成功応答を追加しました。
PD-8346	LoadMaster が接続を閉じないようにするため、一部の PowerShell API コマンドの遅延を追加しました。
PD-8236	API コマンド「License」の誤植を修正しました。
PD-8009	API コマンド「listcluster」はステータスを戻します。



リリース 7.2.37.1

PD-7990	API コマンド「Set-SecAdminAccess」の応答を改善しました。
PD-7958	PowerShell API コマンド「New-NetworkRoute」のエラー処理を改善しました。
PD-7957	PowerShell API コマンド「Set-NetworkInterface」の問題を修正しました。
PD-7956	PowerShell API コマンド「setnetworking」の問題を修正しました。
PD-7863	HTML ポスト リクエスト コンテンツの検査が有効なときに、RESTful API がディセーブルになった JSON Parser と XML Parser オプションを表示しないという問題を修正しました。
PD-7856	RESTful API で、特定のシナリオで NAT 機能が動作しない問題を修正しました。
PD-7742	WUI と API で DNS クエリの最大フィールド長の同じ値（最大 126 文字）にしました。
PD-7487	API コマンド「addlocaluser」と「usersetperms」のリターンメッセージを改善しました。
PD-7338	API コマンド「listclusters」は、ヘルスチェックポートの値を正しく返します。
PD-6817	Azure VLM 用の新しいバーチャルサービスを作成するとき、WUI と API で同一の動作をするようにしました。
PD-8038	API コマンド「showcluster」は、ステータス値を正しく返します。
PD-8290	ワーニング ログから JavaScript を実行するブラウザの問題を修正しました。

6.4 既知の問題

PD-8771	SAML を使用すると、ログオフのときに「IdP Logoff URL」ではなく「IdP SSO URL」をユーザに提供してしまいます。
PD-8760	LoadMaster は、Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) のルールセットが期限切れであるという誤ったメッセージを表示します。
PD-8730	一部のケースで、ESP を使用したクライアント認証ができません。
PD-8746	ファクトリ リセット後の WAF ルールのダウンロード/インストールで問題があります。
PD-8413	テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できません。
PD-8766	「Everywhere」はローケーションの選択で 2 回表示されます。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。



リリース 7.2.37.1

- | | |
|---------|---|
| PD-8014 | リモート LoadMaster のクラスタは、バーチャル サービスがないと応答しません。 |
| PD-8357 | API で新しいクラスタを追加するとき、エラー処理で軽微な問題があります。 |
| PD-8196 | API コマンド「enablewafremotelogging」を使用するとき、リモート URI が無効なフォーマットで設定されることがあります。 |
| PD-8118 | API を使用して GEO 更新インターフェイスを設定することはできません。 |
| PD-7613 | API コマンド「showiface」と「modiface」では、「Cluster Checks」と「Cluster Updates」オプションは表示されません。 |
| PD-7156 | 一部の API コマンド「VSIIndex」のパラメータに問題があります。 |
| PD-8378 | 不正なデータを与えると API コマンド「istvs」は誤った処理をします。 |
| PD-8716 | API コマンド「showdomainlockedusers」の実行時に、ロックユーザの表示フォーマットが難読な状態になる。 |
| PD-8561 | API コマンド「createbond/unbond」の実行で、その結果が成功でも、応答しないことがあります。 |
| PD-8649 | /tmp が部分的にいっぱい（～17%）になったときに、API でのファームウェアパッチが適用されない問題があります。 |
-



リリース 7.2.36.2

7 リリース 7.2.36.2

ファームウェアバージョン 7.2.36.2 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 12 月 14 日にリリースされました。

7.1 解決した問題

PD-8479 バーチャルサービス (VS) が誤って LoadMaster から削除される問題を解決しました。

PD-8480 Web アプリケーションファイアウォール (WAF) の CPU 使用率が高い問題を修正しました。



リリース 7.2.36.2

8 リリース 7.2.36.1

ファームウェアバージョン 7.2.36.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 11 月 17 日にリリースされました。

8.1 新機能

7.2.36.1 で以下の機能を追加しました。

- 統合機能認定製品リスト (Unified Capabilities Approved Product List、UC APL) を更新
- 以下のバーチャルサービス アプリケーション用テンプレートを公開：
 - IBM Domino
 - RabbitMQ
 - Epic Medical Systems
 - Pearson PowerSchool
 - vSphere Platform Service Controllers (PSC)
 - Apache Tomcat
 - Apache HTTP
 - Horizon View 7.0
 - Microsoft IIS
- LoadMaster カーネルをアップデート
- Dell サポートの追加
- セキュリティ アサーション マークアップ ランゲージ (SAML) - ベースの認証コンセプト証明 (PoC)
- ライセンスタイプの選択
- PowerShell アプリケーション プログラム インターフェイス (API) モジュールのデジタル署名
- PowerShell API モジュールに証明書ベースの認証が追加

8.2 機能拡張

- エッジセキュリティ パック (ESP) ログインのフォームベースで特殊文字ハンドリングを強化しました。



リリース 7.2.36.2

- アクティブなファイル転送プロトコル（FTP）トラフィックは、予想される IP アドレスに NAT（Network Address Translated）します。
- OpenSSL のバージョンを 1.0.2j にアップデートしました。
- CVE-2015-5722 と CVE-2015-5986 の脆弱性を改善するために、LoadMaster の BIND バージョンを 9.10.4-P3 にアップデートしました。
- Dell Broadwell ハードウェアをサポートしました。
- ライセンス処理を失敗した場合に実行するデバッグチェックの強化。
- 新しく作成されたバーチャルサービスのデフォルト設定は、「transparency」を無効、「Subnet Originating Requests」を有効になります。
- ハイアベイラビリティ（HA）バーチャル ID の重複を排除するための改善をしました。
- Amazon Web サービス（AWS）では、LoadMaster をデプロイしてから 3 日後にサポート サブスクリプションを有効にするための KEMP ID とパスワードの入力を促します。
- LDAP のヘルスチェックを追加しました。
- ヘッダ値をカスタムヘッダにコピーすることができます。
- ModSecurity のログ形式（JSON）をサポートしました。
- Web ユーザーインターフェイス（WUI）で DNS ヘルスチェックのチェックポートを設定できます。
- SSL 証明書、SSO 設定と関連する設定が、クラウドベースの HA ペアで同期できるようになりました。
- 過去のファームウェア バージョンを確認するための API コマンドを追加しました。
- API コマンド「showiface」は、インターフェイスを定義しないと、すべてのインターフェイスを表示します。
- PowerShell API モジュールにいくつかの診断コマンドを追加しました。



8.3 解決した問題

-
- PD-7975 キーボード用に最新 USB ドライバをサポートしました。
-
- PD-7807 特定のシナリオで LoadMaster がクラッシュする問題を修正しました。
-
- PD-7770 GEO の近接 IP 抽出基準に関するいくつかの問題を修正しました。
-
- PD-7376 LoadMaster が Sorry Server を使用している場合、「Subnet Originating Requests」が重要な要素になりました。
-
- PD-7939 リアルサーバの誤った統計情報が表示する問題を修正しました。
-
- PD-7845 API を使って複数の Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) のルールをバーチャルサービスに割り当てるのが可能になりました。
-
- PD-8004 リアルサーバのアイコンの問題を修正しました。
-
- PD-7946 Intel Skylake プロセッサ環境の Hyper-V で、リブートのループが発生する問題を修正しました。
-
- PD-7937 GEO クラスタが制限に達すると通知を表示します。
-
- PD-7915 ヒストリカル グラフの問題を修正しました。
-
- PD-7787 クラウド HA の同期に関する問題を修正しました。
-
- PD-7747 GEO のパートナー更新が失敗する原因となった問題を修正しました。
-
- PD-7738 怪しいログメッセージの表示を排除しました。
-
- PD-7729 LinOTP 2 要素認証 PIN の裁断問題を修正しました。
-
- PD-7726 Detect Malicious Requests が有効になっているときにエクスポートしたテンプレートが機能しない問題を修正しました。
-
- PD-7713 ヘルスチェックプローブが正常に機能しているのに、Azure HA ユニットのヘルスチェックステータスがチェックされていない問題を修正しました。
-
- PD-7678 HA とセッション管理を使用しているときに、一部の LoadMaster ユーザを排除する問題を修正しました。
-
- PD-7578 ワイルドカード UDP のバーチャルサービスで、リターントラフィックが期待通りの NAT 処理できない問題を修正しました。
-
- PD-7757 マイクロソフト Edge と IE のブラウザで Cipher が選択されない問題を修正しました。
-



リリース 7.2.36.2

-
- | | |
|---------|--|
| PD-7643 | LoadMaster を 5 分間以上の間隔を置かずに 3 回リブートした後に LoadMaster がパッシブモードになる問題を修正しました。 |
| PD-7617 | ブート ログの内容を読みやすくしました。 |
| PD-7752 | RADIUS の OTP のチャレンジを改善しました。 |
| PD-7696 | API で Checked Port の設定ができます。 |
| PD-7556 | PowerShell API で、パーシステンス モードを none に設定することができます。 |
| PD-7753 | SecAPIAccess の Enable と Disable で、ポート指定の必要がある問題を修正しました。 |
| PD-7658 | PowerShell API で netsonsole パラメータを設定できない問題を修正しました。 |
| PD-7656 | PowerShell API コマンド「Set-SecRemoteAccess」を使用して、特定の値を設定解除できない問題を修正しました。 |
| PD-7650 | WAF コマーシャル ルール更新とインストールのための API コマンドを修正しました。 |
| PD-7648 | RESTful API で、カスタムルール データ ファイルをアップロードできない問題を修正しました。 |
| PD-7608 | API コマンドで、SNI のホスト名フラグの要求を有効にしました。 |
| PD-7540 | RESTful API コマンドのスペル ミスを修正しました。 |
| PD-7522 | GEO のマップ処理に関連する API コマンドのエラー処理を改善しました。 |
| PD-7516 | API で、GEO のローケーション情報を「everywhere」に設定できるようになりました。 |
| PD-7565 | チェッカーアドレスは、API を使用して設定できます。 |
-

8.4 既知の問題

-
- | | |
|---------|--|
| PD-8371 | ESP SubVS 接続ログにリアル サーバの表示がありません。 |
| PD-8341 | ボンディング インターフェイスのとき、MTU サイズを 1500 にリセットします。 |
| PD-8298 | IPv6 ルーティングに関して一部で問題があります。 |
| PD-8285 | LoadMaster のワーニング ログに表れる一部の JavaScript はブラウザによって実行されたものです。 |
| PD-8205 | 同じ接続で複数リクエストにマッチするコンテンツルールは、一部に問題があります。 |
-



リリース 7.2.36.2

- | | |
|---------|--|
| PD-8200 | HA ペアの個々の IP アドレスに対して管理者用証明書を管理することができません。 |
| PD-8297 | API が無効な状態では、vRealize Operations Manager のアダプター セットアップは失敗します。 |
| PD-8296 | vRealize Operations Manager を使用する場合は、管理ポートが 443 以外では正常に動作しません。 |
| PD-8399 | WUI のヘルプ テキストでは、L7 接続のドレイン時間を 0 に設定できるとなっていますが、これは誤りです。正しい値は 60~86400 の範囲です。 |
| PD-8192 | API コマンド「Get-NetworkDNSConfiguration」に不要な出力があります。 |
| PD-9089 | いくつかのケースで、LoadMaster ファームウェア バージョンを 7.1.35 から新しいファームウェアにアップグレードした後、「historical graphs」（履歴グラフ）が表示されないことがあります。この問題を解決するには、統計カウンタをリセットします（System Configuration > Extended Log Files > System Log Files > Debug Options > Reset Statistics）。 |
-



9 リリース 7.1.35.4 (ロングターム サポート (LTS))

ファームウェアバージョン 7.1.35.4 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 8 月 2 日にリリースされました。

9.1 機能拡張

- OpenSSH のバージョンを 7.5p1 にアップデートしました。
- 接続数をより大きな数字でサポートするように改善されました。

9.2 解決した問題

PD-9678	Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) が有効なとき、バックエンド トラフィックが発生しないという問題を修正しました。
PD-9650	1MB を超えるファイルのアップロードを、WAF がブロックする問題を修正しました。
PD-9631	VLAN インターフェイス上で、シェアード IP の IP アドレスの変更が可能になりました。
PD-9438	「Drop Connections on RS failure」の設定でメモリの使用率が高くなる問題を修正しました。
PD-9353	UDP syslog を設定したバーチャル サービスのパーシステンス モードが変更で、LoadMaster が再起動する問題を修正しました。
PD-9352	ヘルスチェックの失敗が同時に発生したときの問題を修正しました。
PD-9333	廃止したオプションの SSO マネージャ ログを削除しました。
PD-9769	ログオンのコード変換オプションに関する SSO のデバッグ ログのセキュリティ問題を修正しました。
PD-9637	CVE-2017-8890 の脆弱性の対策を施しました。
PD-9756	HA ペアを設定しているときの証明書認証に関する問題を修正しました。
PD-9569	特殊なスペース文字とローカルエリア内の LoadMaster のユーザ認証に関する問題を修正しました。
PD-9806	一部の API コマンド「aclcontrol」の問題を修正しました。
PD-9790	「CheckPort」と「CheckPattern」の API パラメータで設定の解除ができます。



リリース 7.1.35.4 (ロングターム サポート (LTS))

PD-9773 API でディセーブルに設定したバーチャルサービスのステータスが異なっている問題を修正しました。

9.3 既知の問題

PD-9770 ESP のログで、いくつかの情報が記録されないことがあります。

PD-9743 デフォルト ルールを割当てたテンプレートファイルのインポートに問題があります。

PD-9666 Apache 2.4 ではアンダースコアのあるヘッダを受け付けません。

PD-9660 LoadMaster は、一部のシナリオで RADIUS パスワードを変更します。

PD-9633 WUI を接続するポートで「check host」を設定できません (API か CLI で動作します) 。

PD-9517 パスワードが期限切れで、許可されたグループが使用されている時、一部のユーザを認証できません。

PD-9508 ESP は、ルート証明書の使用時のみ SAML assertions を検証します。

PD-9504 マルチテナントの LoadMaster で HA フェールオーバーの問題を抱えるユーザがいます。

PD-9489 ファームウェアのアップグレード後に CPU とネットワークの使用状況がグラフ表示されません。

PD-9470 LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックが最適に動作しません。

PD-9453 一部の Azure ユーザでライセンスの問題が発生しています。原因はデフォルト ゲートウェイとの通信上の問題によるものです。

PD-9359 一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。

PD-9159 WAF が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドにトラフィックが無いことがあります。

PD-8697 一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール (HSM) を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。

PD-9768 ログオンのコード変換オプションに関連した SSO デバッグログでセキュリティの問題があります。

PD-9657 名称に - または + を使用した Cipher セットでいくつかの問題が発生しています。

PD-9643 LoadMaster Azure でバーチャル サービスの IP アドレスを変更できません。

PD-9604 一部のカスタムテンプレートをインポートで問題が発生します。

PD-9783 スレーブユニット上の「HA status tool tip」に不正な IP アドレスを表示します。



リリース 7.1.35.4 (ロングターム サポート (LTS))

PD-9758	SAML か KCD の認証を使用している場合、一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないことがあります。
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-7265	HA ペアでシェアード IP アドレスを変更すると、新しいシェアード IP アドレスにリダイレクトしません。
PD-8746	WAF ルールをライセンスされた LoadMaster で、ルールのダウンロード/インストールを行い、その後工場出荷状態にリセットした場合、WAF ルールをダウンロード/インストールすることができなくなります。
PD-8413	テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できません。
PD-9129	バックアップを行う API コマンドに、PowerShell ラッパー接続を切断する問題があります。
PD-9779	WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」のパラメータが一致していません。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、設定の無いインターフェイスの出力に間違ったインターフェイス値を表示します。
PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9523	特定のシナリオでは、RESTful API は存在しない GEO の FQDN を取得した時に成功メッセージを返します。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを取得/表示するための RESTful API コマンドはありません。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9575	一部の API コマンド「aclcontrol」に問題があります。



リリース 7.1.35.3

10 リリース 7.1.35.3

ファームウェアバージョン 7.1.35.3 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 4 月 5 日にリリースされました。

10.1 機能拡張

- OpenSSH のバージョンを 7.4p1 にアップデートしました。
- 以下の脆弱性に対応するために OpenSSL のバージョンを 1.0.2k にアップデートしました：
 - CVE-2017-3731
 - CVE-2017-3730
 - CVE-2017-3732
 - CVE-2016-7055
- 以下の脆弱性に対応するために、LoadMaster の BIND バージョンを 9.10.4-P5 にアップデートしました。
 - CVE-2016-9131
 - CVE-2016-9147
 - CVE-2016-9444
 - CVE-2016-9778
- LoadMaster コンソールと Web ユーザ インターフェース (WUI) の著作権表示を更新しました。
- OWASP CRS 3.0 ルールをサポートしました。

10.2 解決した問題

PD-9042 IPv6 の X-Forwarded-For ヘッダから括弧を削除しました。

PD-8643 ローカルポートの消耗で接続レベルが増加させるようにしました。

PD-8982 バックアップで netstat を含めないオプションを追加しました。



リリース 7.1.35.3

-
- PD-9075 一部のセッション管理の問題を修正しました。
 - PD-8996 誤って SSL オープン/オープン接続の制限に達してしまう問題を修正しました。
 - PD-8777 一定のシナリオで、Edge Security Pack (ESP) を使ってクライアントを認証できない問題を修正しました。
 - PD-8717 ESP の Blocked_users ファイルに関連する問題を修正しました。
 - PD-8569 ログ ファイルの表示で表れる不要なエラーメッセージを排除しました。
 - PD-9120 バーチャルサービスのステータスは、統計アプリケーションプログラム インターフェイス (API) でリストできません。
-

10.3 既知の問題

-
- PD-8009 API コマンド「listcluster」はステータスを戻しません。
 - PD-8298 IPv6 ルーティングに関して一部で問題があります。
 - PD-8097 Firefox と LoadMaster の組合せで WebSocket へアクセスしたときに一部で問題があります。
 - PD-8005 PowerShell API で、Microsoft Service Management Automation (SMA) のエラー原因となるいくつかの問題があります。
 - PD-8341 ボンディング インターフェイスのとき、MTU サイズを 1500 にリセットします。
 - PD-8305 API コマンド「aslactivate」で、アクティベーションが失敗しても常に成功メッセージを返します。
 - PD-8192 API コマンド「Get-NetworkDNSConfiguration」は、LoadMaster が HA モードでなくても、HA パラメータを返します。
 - PD-7778 一部の状況で、接続数が少ない状態にもかかわらず、SSL オープン/オープン接続の制限に達してしまいます。
 - PD-7559 API を使用すると、アクセスコントロール リスト (ACL) のブロックとホワイトリストのエントリにコメントを追加できません。
 - PD-8196 API を使用して WAF ログを有効にすると、リモート URI の検証は行いません。
 - PD-8174 名前の前にスラッシュ (/) が付いたクラスタは WUI では表示しません。
 - PD-8107 API を使用して強制的な NTP 更新を行うことはできません。
-



リリース 7.1.35.3

- | | |
|---------|--|
| PD-8038 | いくつかのシナリオでは、API はクラスタのステータスを正しい値で戻しません。 |
| PD-8014 | リモート LoadMaster のクラスタは、バーチャルサービスの設定がないと応答しません。 |
| PD-8225 | LoadMaster のライセンス処理で、不正な資格情報が使われると、正しくないエラーメッセージを表示します。 |
| PD-8205 | コンテンツルールの使用で、LoadMaster はポートマッチでは、リアルサーバの選択しません。 |
| PD-7487 | ローカルユーザーの名前を bal で追加したとき、正しく応答するが、レスポンス stat は無効になります。これは 200 で応答するのではなく、400/422 または異常を示す stat で応答する必要があります。 |
-



リリース 7.1.35.2

11 リリース 7.1.35.2

ファームウェアバージョン 7.1.35.2 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 11 月 9 日にリリースされました。

11.1 解決した問題

PD-8290 ワーニング ログから JavaScript を実行するブラウザの問題を修正しました。

PD-8240 Azure 環境のマルチアームの LoadMasters での IP 割り当てに関する問題を修正しました。

PD-8193 統計情報の表示に関する問題を修正しました。

PD-8189 権限のない API コマンドを実行できてしまう問題を修正しました。

PD-8188 Web アプリケーション ファイアウォール (WAF) のルール割り当てがないと、バーチャルサービスにエラーが表示される問題を修正しました。

PD-8187 BIND をバージョン 9.10.4-P3 に更新しました。



リリース 7.1.35

12 リリース 7.1.35

ファームウェアバージョン 7.1.35 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 8 月 2 日にリリースされました。

LoadMaster for Microsoft Azure のファームウェアバージョンを 7.1.35 にアップグレードする場合、先に Azure のアドオンパックをアップグレードする必要があります。

12.1 新機能

The following features were added to the 7.1.35 release:

- 複数のログオフ文字列の指定が可能
- 完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスでの実サーバの参照が可能
- LoadMaster において、IPv6 トラフィックのネットワークアドレス変換 (NAT) が可能
- 仮想サービスのアプリケーション設定に関する以下のテンプレートを公開
 - VMware vRealize Automation
 - Microsoft Dynamics AX
 - JBoss アプリケーションサーバー
 - リモートデスクトップサービス
 - AirWatch
 - Splunk
 - Syncplicity
- Microsoft Exchange、SharePoint、IIS アプリケーションの設定テンプレートを更新
- GEO によるブラックリストのサポート
- LoadMaster のオペレーティングシステム (OS) に Linux/Unix の標準ユーティリティの du を追加
- 高可用性 (HA) 向け Azure リソースマネージャー (ARM) の設定テンプレートを提供
- クローズドネットワークのライセンス設定
- パブリッククラウド向けの新しい WAF 製品
- IPv6 ping のサポートを強化



リリース 7.1.35

- GEO における FQDN ごとの設定
- クラスタごとにグループ化できるように、GEO のヘルスチェックを強化
- アプリケーションプログラムインターフェイス (API) から TCP ダンプの実行が可能

12.2 機能拡張

- クライアント証明書のコモンネーム (CN) の処理を改善しました。
- SecRequestBodyNoFilesLimit と SecRequestBodyInMemoryLimit のデフォルト値を 1048576 に変更しました。
- 複数の仮想サービス証明書に対するサブジェクト代替名 (SAN) の処理を改善しました。
- シングルサインオン (SSO) のトークン認証タイムアウトを設定できるようになりました。
- OpenSSH のバージョンを 7.2p2 に更新しました。
- 各ルールセットで WAF ルールを個別に有効化/無効化できるようになりました。
- ウェブユーザーインターフェイス (WUI) ホームページの "View License" リンクの下に、製品とサービスのサポートの種類と日付が表示されるようになりました。
- WAF ルールの自動ダウンロード動作を改善しました。
- 新しい LoadMaster では、セッションマネージャーがデフォルトで有効になっています。
- ModSecurity をバージョンを 2.9 に更新しました。
- API コマンドの機能を拡張し、インストールされているテンプレートがすべて表示されるようになりました。
- Microsoft の命名規則に従って、PowerShell API コマンドレットの名前を変更しました。後方互換性を保つため、以前の命名規則も残されています。

12.3 修正した問題

PD-6879	複数のドメイン環境における SAM アカウント名/ユーザープリンシパル名 (UPN) の処理を改善しました。
PD-7668	LoadMasterWUI に、SDNstats の HTTPlib タイムアウトを設定するオプションを追加しました。
PD-7564	パーシステンス方式として「UDP Session Initiation Protocol」を選択できない問題を修正
PD-7476	一部の統計情報が消えてしまう場合がある問題を修正
PD-7467	統計履歴を表示できない問題を修正



リリース 7.1.35

PD-7464	代替ドメイン使用時、LDAP バインド後に LoadMaster が期待通りに動作を続けるように修正
PD-7331	カナダフランス語のブランク SSO 画像セットにおけるスペルミスを修正
PD-7222	WAF のイベントログが syslog にエクスポートされるように修正
PD-7153	SPLA 仮想 LoadMaster に対するライセンス設定動作の不具合を修正
PD-7141	ESP パスワードでグループ文字 (`) をサポート
PD-6889	1 つのノードが停止しているときの HA モード設定動作を強化
PD-7617	ブートログの更新と画面下部へのスクロールを行わないようにし、ブートログの読みやすさを改善
PD-7609	一部のネットワークインターフェイスコントローラー (NIC) のハードウェアに対応できるように、dhcpcd タイムアウト時間を延長
PD-7173	事前認証対象外ディレクトリおよび Kerberos Constrained Delegation (KCD) に関する問題を修正
PD-7127	Kerberos のキャッシュが完全に消去されるように修正
PD-7099	Log Insight 仮想サービスでサブ VS を作成できない場合がある問題を修正
PD-7047	ネームサーバ (DNS) プロトコルのヘルスチェックに関する問題を修正
PD-7226	テンプレートでより長いコメントを使用できるようにし、古いテンプレートのサポートを強化
PD-7121	複数の証明書を含む OCSP 応答が正しく処理されるように修正
PD-7056	仮想サービスのブラックリスト IP アドレスに関する問題を修正
PD-7128	あらゆる状況において、showvs API コマンドの出力に persist パラメータが表示されるように修正
PD-7119	パケットフィルターを有効にしたときに経路 MTU 探索 (PMTUD) が無視されないように修正
PD-7080	高可用性 (HA) のフェールオーバー発生後に IPv6 のデフォルトルートが失われる問題を修正
PD-7481	「Selection Criteria」(選択基準) として「Location Based」を使用した際に、間違っただサイトが選択されてフェールオーバーされる問題を修正
PD-7512	LoadMasterWUI から偽のエラーメッセージが表示されないように修正
PD-7475	WAF ルールのダウンロード後にユーザに表示されるメッセージを修正



リリース 7.1.35

- PD-7339 Firefox ブラウザで発生していた"Disable Password Form"オプションに関する問題を修正
- PD-7134 表示されなかったメニュー項目が表示されるように、GEOLoadMaster の WUI を修正
- PD-7076 NAT 機能が期待通りに機能しない場合がある問題を修正
- PD-7011 ユーザが自分自身を削除またはブロックしようとしたときに表示される警告メッセージを改善
- PD-6548 サービス追加後に CPU 使用率が高くなる問題を修正
- PD-7021 WUI と API で Add Header to Request フィールドの長さが同じになるように修正
- PD-7014 PowerShell API による追加ポートの削除に関する問題を修正
- PD-7582 API を有効/無効にできるように、PowerShell コマンドの機能を拡張
- PD-7217 Java 修飾インターフェイスコマンドの機能を拡張
- PD-7637 PowerShell Initialize-Loadbalancer コマンドの問題を修正
- PD-7023 Get-Rule API リストコマンドのエラー処理を改善
- PD-7016 PowerShell API を用いてコンテンツルールの"Include query"フラグをセットできない問題を修正
- PD-7184 showrs RESTful API コマンドが VSIndex の値を正しく返すように修正
- PD-7642 New-TlsintermediateCertificate PowerShell API コマンドの誤字を修正
- PD-7541 showiface API コマンドがクラスタリングで機能しない問題を修正
- PD-7509 API から共有サブ VS パーシステンスを設定できるように修正
- PD-7465 DisablePasswordForm API パラメータに関する問題を修正
- PD-7379 RESTful API から Require SNI hostname フラグを設定できない問題を修正
- PD-7267 ModSSODomain Java API コマンドが 3 番目のパラメータとして Map<String, String>を受け付けるように修正
- PD-7192 nameserver API パラメータの誤字を修正
- PD-7420 checkheader API パラメータが、ヘッダ/フィールドの組の数（最大 4 つ）を正しく返すように修正
- PD-6923 サブ VS を有効/無効にする API コマンドを修正



リリース 7.1.35

PD-6866 必要に応じて InputAuthMode API パラメータに値を追加できるように修正

PD-6865 仮想サービス変更コマンドに CheckHeaders パラメータを追加

12.4 既知の問題

PD-7218 WAF-FLE サーバが LoadMaster のリモートログインリクエストを受け付けない。これは、LoadMaster の問題ではなく、WAF-FLE の問題です。

PD-7770 GEO の近接スケジューリングの"Selection Criteria" (選択基準) に問題が存在する

PD-7713 ヘルスチェック検査が正しく機能しているにもかかわらず、Azure HA ユニットのヘルスチェックステータスが未チェックと表示される問題が存在する

PD-7678 HA およびセッション管理使用時、一部の LoadMaster ユーザが頻繁にロックアウトされる問題が存在する。これは、ブロックされたログインのリストが HA マシンの間で共有されるためです。ユーザのブロックが解除されたときに、両方のマシンから「ブロックされたログイン」ファイルが削除されない。そのため、スレーブユニットからファイルが復活してしまう。回避策として、そのユーザのブロックを両方のマシンで同時に解除してください。

PD-7578 ワイルドカード UDP 仮想サービスが、戻りトラフィックを期待どおりに NAT 変換しない

PD-7265 HA ペアで共有 IP アドレスが変更されたとき、新しい共有 IP アドレスにユーザがリダイレクトされない

PD-7764 Microsoft Edge および Internet Explorer のブラウザで暗号を選択できない問題が存在する

PD-7487 ローカルユーザの名前を bal で追加したとき、正しく応答するが、レスポンス stat は無効になります。これは 200 で応答するのではなく、400/422 または異常を示す stat で応答する必要があります。

PD-7752 RADIUS のチャレンジにおいて、でたらめな文字が送信される

PD-7157 WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。

PD-7559 API を使用すると、アクセスコントロール リスト (ACL) のブロックとホワイトリストのエントリにコメントを追加できません。

PD-7556 仮想サービスを設定する PowerShell コマンドが、パーシステンスモードを「なし」に設定する機能をサポートしていない

PD-7658 関連する PowerShell API コマンドを使用して syslog の値を削除できない

PD-7657 Set-LmDebugConfiguration コマンドを使用して netconsole パラメータの値を削除できない



リリース 7.1.35

PD-7656	Set-SecRemoteAccessPowerShell API コマンドを使用して特定の値を削除できない
PD-7655	ボンディングインターフェイスの API コマンドがエラーを返す
PD-7650	setwafautoupdate API コマンドに関する問題が存在する
PD-7648	RESTful API を使用してカスタムルールデータファイルを LoadMaster にアップロードできない
PD-7643	API を使用して手動で再起動したとき、リポートカウンターがリセットされない。そのため、LoadMaster が 5 分以上稼働しないまま 3 回再起動された場合、LoadMaster がパッシブモードになる
PD-7608	PowerShell および Java API の仮想サービス変更コマンドを使用して"Require SNI hostname" フラグを有効にできない
PD-7693	API から CheckPattern パラメータを設定する際、140 文字を超える入力が消えてしまい、入力文字列の一部が CheckHost パラメータにあふれ出してしまう
PD-7753	443 以外の管理ポートを使用して LoadMaster の PowerShell API を使用する場合、Enable-SecAPIAccess コマンドおよび Disable-SecAPIAccess コマンドを使用する際にポートを指定する必要がある
PD-7565	API からチェッカーのアドレスを設定できない
PD-7522	API 経由で GEO のマップが変更され、そのサイトの IP アドレスが指定されていない場合、何も返されない (エラーが表示されるはず)
PD-7516	API において、GEO ロケーションベースのオプションで"Everywhere"を選択できない
PD-7338	チェッカーが tcp に設定されていると、listclustersAPI コマンドが CheckerPort の値として 0 を返す。TCP ヘルスチェック使用時のデフォルト値は 80 で、その値が返されなければなりません。
PD-7742	DNS クエリのフィールドに対し、API と UI で異なる長さの文字列を指定できる
PD-7696	API からチェック済みポートを削除できない



13 リリース 7.1.34.1

ファームウェアバージョン 7.1.34.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 5 月 18 日にリリースされました。

VMware による vCOPs v.5.8.1 のサポートは終了したため、リリース 7.1.34.1 現在、VMware vCenter Operations (vCOPs) v5LoadMaster プラグインのメンテナンスは行っていません。

既存の LoadMaster for Amazon Web サービス (AWS) のファームウェアを 7.1.34 より前のバージョンから 7.1.34 以降にアップグレードすると、正しく動作しません。この問題は、AWS が準仮想化 (PV) のサポートを重視なくなり、最終的にはそのサポートを廃止するために発生します。そのため、LoadMaster の新しいバージョンは、すべてハードウェア仮想マシン (HVM) の AMI のみサポートしています。アップグレードのサポートが必要な場合は、KEMP の技術サポートまでお問い合わせください。

13.1 新機能

LoadMasterWeb ユーザーインターフェイス (WUI) のホームページを改善

- テンプレート作成機能を追加
- ドメイン名システムセキュリティ拡張 (DNSSEC) クライアントのサポートを追加
- Microsoft Azure リソースマネージャー (ARM) の展開をサポート
- LoadMaster for Amazon Web サービス (AWS) で BYOL をサポート
- RADIUS のチャレンジ/レスポンスのサポートを追加

13.2 機能拡張

- エッジセキュリティパック (ESP) の「許可グループ」機能が強化され、クライアント証明書を使用できるようになりました。
- RSA-SecurID と LDAP による 2 要素認証がサポートされました。
- 仮想サービスのアプリケーション設定に関する 2 つのテンプレートを公開しました。



リリース 7.1.34.1

- Dell Wyse vWorkspace
 - Adobe Connect
-
- 「非標準」の Web サーバ応答を正常とみなすよう設定できるようになりました。
 - 共通アクセスカード (CAC) による WUI 認証を改善しました。
 - WUI および API に、SSL 暗号セットの集中管理機能を追加しました。
 - GEO のカスタムロケーションを削除できるようになりました。
 - CCWAF の稼働状態がよりの確に反映されるように、仮想サービスの WAF 統計情報を改善しました。
 - SSOMGR デバッグトレースが有効なとき、SSOMGR ログファイルが空でない場合に、SSOMGR ログファイルを真夜中に圧縮するようにしました。
 - インストール時、HTTP (S) プロキシを介して LoadMaster のライセンスを設定できるようになりました。
 - KVMLoadMaster に virtIO ディスクのサポートを追加しました。
 - LoadMasterin AWS のサポート地域を拡張しました。
 - 新しい L7 設定オプションを追加し、空のヘッダを使用できるようになりました。
 - サブ VS を追加するための PowerShell API コマンドを追加しました。
 - 仮想サービスの API コマンドに、サブネット起源リクエストのパラメータを追加しました。
 - ヘルスチェックの集約および設定可能なヘルスチェックしきい値に関する PowerShell API コマンドを追加しました。
 - FQDN のカスタムロケーションを追加するための PowerShell API コマンドおよび Java API コマンドを追加しました。
 - 仮想サービスおよびサブ VS に関する PowerShell API を改善しました。
 - API パラメータの tcpfailover と cookieupdate を、それぞれ hal4update と hal7update に置き換えました。
 - CVE-2016-2107 の脆弱性を軽減するため、OpenSSL のバージョンを 1.0.2h に更新しました。
 - CVE-2015-5621 の脆弱性を軽減しました。

13.3 修正された問題

PD-7035 リダイレクト URL フィールドの長さを拡張

PD-6644 VLAN インターフェイス ID を実際の VLAN 番号に変更



リリース 7.1.34.1

PD-6921	LDAPS を FIPS モードで実行できるように変更
PD-6570	WAF の安定性が向上
PD-7083	RADIUS ヘルスチェックの安定性が向上
PD-7064	コンテンツルールの削除に関する問題を修正
PD-6950	再起動後に管理用の証明書が失われる問題を修正
PD-6936	アップグレードを行った後にライセンスのエラーが発生する場合がある問題を修正
PD-6931	クラスタ内のノードに関する統計履歴ページを修正
PD-6916	SSHv1 のサポートを完全に削除
PD-6870	ログイン試行回数のしきい値の適用を改善
PD-6653	ホームページの WAF カウンタを改善
PD-6656	LoadMaster から IP アドレスとホスト FQDN を入力してホストファイルを操作できるように変更
PD-6468	WAF の性能を改善
PD-6412	ESP 内のマルチドメインフォレストのサポートを強化
PD-4666	SSO 設定ログにおいてドメインの情報が失われる問題を修正
PD-7222	WAF syslog のサポートを強化
PD-6591	Kerberos Constrained Delegation (KCD) のサービスチケットの処理を改善
PD-6549	ハイアベイラビリティ (HA) モードで VLAN/VXLAN を削除したときに発生する問題を修正
PD-6731	拡張オプションを有効にしたときに実サーバの状態が正しく表示されない問題を修正
PD-6657	近接スケジューリング方式におけるプライベート/パブリックサイトのプリファレンスに関する問題を修正
PD-6641	内蔵の地理的位置情報データベースを使用するサイトに関する問題を修正
PD-6626	近接選択方式に切り替え時における既存サイトの地理的座標の分解能を修正
PD-6607	SharePoint および Exchange において KCD OWA および添付ファイルを使用したときに発生する問題を修正



リリース 7.1.34.1

-
- PD-6760 POSTDATA の特殊文字を扱えるように、POST のヘルスチェックを強化
 - PD-6734 ESP のフォームベース認証および KCD 使用時の SharePoint One Drive との同期を改善
 - PD-6669 無償版仮想 LoadMaster における古いバージョンのライセンス設定に関する問題を修正
 - PD-6548 サービス追加時に CPU 使用率が高くなる問題を修正
 - PD-6459 CPU の統計情報が正しく表示されない問題を修正
 - PD-6329 パケットルーティングフィルターに関して欠落していた Java および PowerShell の API コマンドを追加
 - PD-6215 パブリック IP アドレスを GEO 上でプライベートとして扱えるように API コマンドを追加
 - PD-6214 同時ログインセッションの数を制限する API コマンドを追加
 - PD-6617 インストールされている証明書のリストを表示する API コマンドを追加
 - PD-6864 API に Quality of Service のパラメータを追加
 - PD-6958 System Center プラグインが LoadMasterAPI にアクセスできるように変更
 - PD-6928 非ローカルの実サーバを有効にする API コマンドの問題を修正
 - PD-6365 Set-SSODomain コマンドに関して欠落していた"Username only"の PowerShell API パラメータ値を追加
 - PD-7067 基本認証を設定する API パラメータを追加
 - PD-7049 ErrorUrl RESTful API パラメータのエラー処理を改善
 - PD-7020 透過パラメータを Sorry サーバーパラメーターとともに使用しているときに発生する API の問題を修正
 - PD-6978 PowerShell および Java の API に RSIndex パラメータを追加
 - PD-6860 代替アドレスパラメーターに関する API におけるエラー処理を修正
 - PD-6841 API に仮想サービスの状態が正しく反映されるように修正
 - PD-6602 管理用証明書を取得するコマンドに対する API の応答を修正
 - PD-6600 実サーバ出力の MatchRules セクションに関する API の表示を改善
 - PD-6595 API 経由で ACLControl を無効にしたときのエラー処理を改善
-



リリース 7.1.34.1

PD-6481	仮想サービスの追加/編集時に LoadMaster for Azure で発生する API の問題を修正
PD-6213	Java API に暗号セットの管理を追加
PD-6195	ブラックリストとホワイトリストの管理に関する PowerShell および Java の API コマンドを追加
PD-6846	PowerShell API の Set-VirtualService コマンドに VSIndex パラメータを追加
PD-6843	Get-NetworkOptions PowerShell API コマンドの問題を修正
PD-6655	API リストコマンドのエラー処理を改善
PD-6601	ローカル証明書を設定する RESTful API における HTTP ステータスコードを改善
PD-6599	GetSDNController Java API コマンドを改善
PD-6598	AddSDNController/ModSDNController Java API コマンドを改善
PD-6587	New-RealServer PowerShell API コマンドの応答を修正
PD-6480	Set_AWSHAOption PowerShell API コマンドを改善
PD-7647	LoadMasters for Azure における WUI 接続の問題を修正。この問題を修正には、LoadMaster のファームウェアに加え、Azure アドオンの更新が必要

13.4 既知の問題

PD-7173	事前認証から除外されたディレクトリの KCD が期待どおりに機能しない
PD-7127	SSOMGR により Kerberos のキャッシュが完全に消去されない
PD-7099	LoadMasterWUI において、Log Insight 仮想サービスでサブ VS を作成できない場合がある
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-7121	複数の証明書を含む OCSP 応答が正しく処理されない
PD-7056	仮想サービスのブラックリスト IP アドレスに関する問題が存在する
PD-7047	ネームサーバ (DNS) プロトコルのヘルスチェックに関する問題が存在する
PD-7226	長いコメントを含むテンプレートをアップロードすると問題が発生する場合がある



リリース 7.1.34.1

-
- | | |
|---------|--|
| PD-7023 | Get-Rule API コマンドの出力およびエラー処理が理想的でない |
| PD-7016 | IncludeQueryAPI のパラメータを設定できない |
| PD-6930 | API における IPv6 のサポートが完全ではない |
| PD-7225 | listcustomlocationAPI コマンドにより、追加されていないカスタムロケーションが表示される |
| PD-7128 | パーシステンスモードを Source IP Address に設定すると、showvs API コマンドに persist パラメータが表示されない |
| PD-7021 | WUI と API で Add Header to Request フィールドの長さが異なる |
| PD-7014 | PowerShell API 使用時、追加ポートを削除しようとする問題が発生する |
-



14 リリース 7.1-32a

ファームウェアバージョン 7.1-32a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 1 月 26 日にリリースされました。

14.1 新機能

- HTTP/2 仮想サービスタイプが追加されました。
- LoadMaster for Amazon Web Services (AWS) のハイアベイラビリティ (HA)
- LoadMaster のクラスタリング
- ヘルスチェックの集約としきい値の設定
- WAF のイベントログを追加
- WAF のリモートログ機能を追加
- 分かりやすくするため、一部の WAF WUI フィールドの名前を変更
- 分かりやすくするため、WAF ルールの更新ログを追加
- API から WAF 監査ログを利用できるようにし、サードパーティのコレクターに送信できるように変更

14.2 機能拡張

- CVE-2004-2761 の脆弱性を軽減するため、LoadMaster のルート証明書を更新
- PowerShell API ライブラリが、TLS 1.1 および TLS 1.2 のみサポートするようになりました。
- Java API が Java 7 および Java 8 をサポートしました。
- SSH およびウェブユーザーインターフェイス (WUI) の事前認証メッセージに対する API のサポートを追加しました。
- LoadMaster for Azure にて複数の NIC がサポートされました。
- LoadMaster for Azure にて複数のサブネットがサポートされました。
- 仮想サービスの各種アプリケーション設定テンプレートを公開しました。
 - a) AD FS v3
 - b) DirectAccess
 - c) Fujifilm Synapse
 - d) Skype for Business
 - e) Greenway PrimeSuite



リリース 7.1-32a

- f) Epicor ERP
- g) Microsoft Exchange 2016

- Microsoft Exchange 2013 仮想サービスアプリケーションの設定テンプレートを更新しました。
- "Modify Virtual Service" (仮想サービスの編集) 画面のセクションの表示を改善しました。
- LoadMaster を最初に設定する際のライセンスタイプ選択時に、より多くの情報が画面に表示されるようにしました。
- VXLAN/VLAN インターフェイスの使い勝手が向上しました。
- VXLAN または IPsec トンネリングが有効な場合に、クラスターモードが有効化されないように警告を追加しました。
- FIPS モードにおいて、強制的にセッション管理モードを使用するようになりました。
- 認証された NTPv4 がサポートされました。
- WUI のページに新たなセキュリティヘッダーを追加しました。
- 監査ログに管理アクションが記録されるようになりました。
- 事前認証クリックスルーバナーを有効化できるようになりました。
- セッション管理が有効な場合、LoadMasterWUI のホームページに最後に成功したログイン情報が表示されるようになりました。
- エッジセキュリティパック (ESP) 使用時、アクティブディレクトリのメンバーシップに基づきトラフィックを操作できるようになりました。
- ESP 使用時、ネストされた権限グループを使用できるようになりました。
- Cavium ドライバがバージョン 6.0 に更新されました。

14.3 修正された問題

PD-6523	PowerShell API における SSL 再暗号化パラメータの設定方法を改善
PD-6482	ボンディングインターフェイスおよびアクティブ/バックアップオプションに関する問題を修正
PD-6476	GEO の近接スケジューリングの安定性が向上
PD-6435	HA および SSO の同期に関する問題を修正
PD-6413	ワイルドカードポートでポートフォロウイングを使用できるように変更
PD-6389	実サーバが存在しないときに、画像セットのリソースが読み込まれない問題を修正



リリース 7.1-32a

- PD-6385 WUI にて TLS のバージョンを選択できるように変更

 - PD-6364 RESTful API、PowerShell API、Java API の整合性を改善

 - PD-6348 RADIUS の安定性が向上

 - PD-6334 FIPS モードおよび TLS 1.2 使用時の WUI のアクセスに関する問題を修正

 - PD-6231 PowerShell API から抜けていたコマンドを追加

 - PD-6167 SNMP および IPv6 に関する問題を修正

 - PD-6165 Internet Explorer 11 との間の WUI の互換性に関する問題を修正

 - PD-6160 SSL 再暗号化を用いた仮想サービス作成時の API の使い勝手が向上

 - PD-6159 WAF および仮想サービスの安定性が向上

 - PD-6096 Azure 仮想 LoadMaster (VLM) の安定性が向上

 - PD-6077 VLM がハングすることがある問題を修正

 - PD-6013 API を使用して、仮想サービスごとにサブネットからの要求を設定できるように変更

 - PD-5961 Kerberos Constrained Delegation 使用時に 1MB を超えるファイルを添付できない問題を修正

 - PD-5932 セグメントフォールトが発生することがある問題を修正

 - PD-5915 ネームサーバを追加できない問題を修正

 - PD-5909 ブラックリストを表示する API コマンドの軽微な問題を修正

 - PD-5857 VMware vRealize Operations Manager にてコレクタースレッドエラーが発生する問題を修正

 - PD-5798 CVE-2015-5600 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

 - PD-5641 LM-2600 モデルにおいて、設定を変更すると再起動する問題を修正

 - PD-5222 ショートドメイン名に関する問題を修正

 - PD-4775 SNMP で問い合わせを行った際に、セキュリティダウン状態の仮想サービスが“InService”と表示される問題を修正

 - PD-3642 GEO の重み付けラウンドロビンの統計情報に関する問題を修正
-



リリース 7.1-32a

- PD-6102 実サーバ有効化ボタンに関する問題を修正
 - PD-6514 FQDN のサイト制限に関する問題を修正
 - PD-6095 国の追加/削除およびマップロケーション変更を行う GEO の API コマンドに関する問題を修正
 - PD-6078 API コマンドを使用して、FQDN の IP にカスタムロケーションを追加できるようになりました。
 - PD-6735 Kerberos Constrained Delegation (KCD) を SharePoint とともに使用したときに発生する問題を修正
 - PD-6703 SSO 設定ログにドメインの詳細が記録されない問題を修正
 - PD-6404 API リストコマンドのエラー処理を改善
-

14.4 既知の問題

- PD-6626 既存の FQDN を近接負荷分散が行われているサイトに変更すると、自動名前解決が失敗する
 - PD-6627 FQDN の座標に「不正データ」を入力すると、自動名前解決が失敗する
 - PD-6575 OpenStack Load Balancer as a Service (LBaaS) をインストールできない場合がある
 - PD-4666 SSO の設定情報が失われる場合がある。
 - PD-6607 WAF および KCD 使用時、SharePoint と Exchange でファイルを添付できない
 - PD-6591 LoadMaster が KCD サービスチケットを要求しない場合がある
-



リリース 7.1-30a

15 リリース 7.1-30a

ファームウェアバージョン 7.1-30a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 11 月 2 日にリリースされました。

15.1 機能拡張

- SDN デバイスとパスの情報を取得する API コマンドを追加しました。
- CVE-2015-5600 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

15.2 修正された問題

PD-6335 FIPS モードおよび TLS1.1（または 1.2）の使用に関する問題を修正

PD-6223 一部の LM-2600 モデルにおいて、設定を変更すると再起動する問題を修正

PD-6222 一部の仮想 LoadMaster がハングする問題を修正



16 リリース 7.1-30

ファームウェアバージョン 7.1-30 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 11 月 3 日にリリースされました。

16.1 新機能

- IPsec トンネリングの機能拡張
- LoadMasterSDN アダプティブ
- VMware vRealize Orchestrator の統合
- 仮想拡張 LAN (VXLAN) ネットワークのサポート
- エッジセキュリティパック (ESP) によるマルチドメイン認証
- WUI にアクセスするための証明書認証
- TCP マルチプレクシング

16.2 機能拡張

- リクエストペイロードに基づくコンテンツスイッチがサポートされました。
- LoadMaster の WUI に同時接続可能な管理用ログオンセッションの数を設定できるようになりました。
- SDN アダプティブモードの設定を API からすべて行えるようになりました。
- PowerShell および Java の API に、SDN に関するコマンドを追加しました。
- LoadMaster のログにスクリプトのバージョン番号を追加しました。
- Web アプリケーションファイアウォール (WAF) のメモリ使用量が拡大されました。
- 仮想サービスの名前に特殊文字を利用できるようになりました。
- ベアメタルインストールに、手動ブートオプションおよびハードウェア互換性チェックを追加しました。
- SSL 証明書の管理において、暗号セットをきめ細かく制御できるようになりました。
- OpenSSL のバージョンが 1.0.1p にアップグレードされました。
- ESP 使用時にショートドメイン名を使用できるようになりました。
- ウェブユーザーインターフェイス (WUI) が更新され、新しいカラースキームと改善された操作性を備えたインターフェイスになりました。
- Oracle EBS 仮想サービスのアプリケーション設定テンプレートを公開しました。
- SAP 仮想サービスのアプリケーション設定テンプレートを公開しました。



リリース 7.1-30

- Oracle JD Edwards 仮想サービスのアプリケーション設定テンプレートを公開しました。
- すべての LoadMaster で FIPS 140-2 レベル 1 動作が可能になりました。
- LoadMaster がプロキシを使用してインターネットにアクセスできるようになりました。
- ディフィー・ヘルマン鍵交換 (DHE) のキーサイズを指定できるようになりました。
- Azure ベースの LoadMaster および GEO のハイアベイラビリティ状態を示す WUI のインジケータを改善しました。
- LoadMaster の手動バックアップのファイル名に、LoadMaster のホスト名が追加されました。
- "Not Available Redirection Handling" (利用不可時のリダイレクション処理) に、応答コード 200 が追加されました。
- SNMP プロトコルのバージョンと認証設定を変更できるようになりました。
- リクエスト元に応じてパブリックサイトとプライベートサイトのどちらで応答するかの設定が、より細かく行えるようになりました。
- API を介して SSO のキャッシュを消去できるようになりました。
- "Real Server Check" (実サーバーチェック) パラメータの "Custom Headers" (カスタムヘッダ) フィールドに、特殊文字を入力できるようになりました。

16.3 修正された問題

PD-5841	SNMP v3 設定時のユーザ名に関する問題を修正
PD-5643	自動バックアップの問題を修正
PD-5500	許可グループおよび ESP 認証に関する問題を修正
PD-5420	"Not Available Redirection Handling" (利用不可時のリダイレクション処理) のエラーファイルを更新できない問題を修正
PD-5416	RSA 認証プロンプトに関する問題を修正
PD-4964	RSA 同時アクセスに関する問題を修正
PD-4596	フロントエンドハンドシェイクにおいて、LoadMaster が完全な証明書データを送信していなかった問題を修正
PD-3726	KCD ログイン時に LoadMaster が再起動する問題を修正
PD-4865	一部の SSO ドメインでロックされたユーザのロック解除に関する問題を修正



リリース 7.1-30

PD-5920	実サーバのヘルスチェックにおいて、実サーバが利用できないにもかかわらずステータスが"up"（動作中）と表示される問題を修正
PD-5870	Internet Explorer でログを表示できない問題を修正
PD-5867	2 要素（RADIUS および LDAP） ESP 認証に関する問題を修正
PD-5853	GEO のヘルスチェックに関する問題を修正
PD-5586	スケジューリング方式を切り替えると LoadMaster がクラッシュする問題を修正
PD-5282	GEO の近接スケジューリング方式に関する問題を修正
PD-4863	GEO のカスタムロケーションを編集できない問題を修正
PD-5478	GEO の IPv6 用ラウンドロビンスケジュール方式に関する問題を修正
PD-4662	LDAP のヘルスチェックが断続的に失敗する問題を修正
PD-3567	IPv6 および追加アドレスを使用しているときに発生する、IPv4 上の無償 ARP（Gratuitous ARP）に関する問題を修正
PD-5863	8-NIC LoadMaster ユニットにおけるネットワークインターフェイスカード（NIC）のポートマッピングを修正

16.4 既知の問題

PD-5582	リソースチェックパラメーターおよびクラスターヘルスチェックに関する問題が GEO に存在する
PD-4666	SSO の設定情報が失われる場合がある。
PD-5915	GEO において、WUI から複数のネームサーバを追加できない。この問題は API で回避できる。
PD-5909	ブラックリスト IP アドレスが 325 件以上になると、RESTful API がブラックリスト IP アドレスの表示を停止する。
PD-5641	LoadMasterLM-2600 において、設定を変更すると LoadMaster が再起動する場合がある。
PD-5857	LoadMaster に対する VMware vRealize Operations コレクターに問題がある。
PD-5961	認証モードが Kerberos Constrained Delegation（KCD）に設定されているとき、1MB を超える添付ファイルが機能しない。



リリース 7.1-30

PD-6102 "Enable Real Server" (実サーバを有効にする) ボタンが正しく機能しない。



リリース 7.1-28b

17 リリース 7.1-28b

ファームウェアバージョン 7.1-28b に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 8 月 28 日にリリースされました。

17.1 機能拡張

- "Not Available Redirection Handling Error Code" (利用不可時のリダイレクション処理のエラーコード) ドロップダウンリストに、新しい応答コード"200 OK"が追加されました。
- CVE-2015-5477 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

17.2 修正された問題

PD-5596	"Not Available Redirection Handling" (利用不可時のリダイレクション処理) のエラーファイルを更新できない問題を修正
PD-5581	GEO のウェブユーザーインターフェイス (WUI) において、複数のローケーションが割り当てられてしまう問題を修正
PD-5513	LoadMaster の安定性が向上しました。

17.3 既知の問題

PD-3567	IPV6 および追加アドレスを使用しているときに、IPv4 上で無償 ARP (Gratuitous ARP) が送信されない
PD-3642	GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない
PD-4662	ある設定において、LDAP のヘルスチェックが断続的に問題を起こす
PD-4863	LoadMasterGEO のカスタムローケーションを無効にできない
PD-4865	一部のドメインにおいて、ロックされたユーザのロックを解除できない
PD-4964	RST テストユーザが設定されていると、RSA 認証が失敗する



リリース 7.1-28b

PD-5020	"Real Server Check" (実サーバーチェック) パラメータの"Custom Headers" (カスタムヘッダ) フィールドに特殊文字を入力できない
PD-5416	ユーザが既存のセッションを持つ場合、新しい接続に対して ESA RSA が RSA パスフレーズを要求しない場合がある
PD-5420	"Not Available Redirection Handling" (利用不可時のリダイレクション処理) のエラーファイルを更新できない



18 リリース 7.1-28a

ファームウェアバージョン 7.1-28a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 7 月 29 日にリリースされました。

18.1 新機能

- Microsoft SharePoint のテンプレートを作成しました。
- MobileIron のテンプレートを作成しました。

18.2 機能拡張

- RESTful API に、SDN に関するコマンドを追加しました。
- 実サーバの規定の上限が、ロードサーバーごとに計算されるようになりました。
- SSL の最大同時接続数が、メモリに応じてより柔軟に拡張されるようになりました。
- SSL の再暗号化が有効のとき、代替ソースアドレスを設定できるようになりました。

18.3 修正された問題

PD-5413	サービスプロバイダーライセンス契約 (SPLA) のライセンス設定画面において、オンライン/オフラインのオプションが表示されない場合がある問題を修正
PD-4924	エッジセキュリティパック (ESP) の "Delegate to Server" (サーバに委任) オプション使用時の安定性が向上
PD-4597	ネストされた仮想サービスに関するメモリの問題を修正
PD-5251	GEO のその他パラメータが一部設定できない問題を修正
PD-4350	管理用インターフェイスと管理用ゲートウェイを一緒に設定しているときに発生する問題を修正



18.4 既知の問題

PD-3567	IPV6 および追加アドレスを使用しているときに、IPv4 上で無償 ARP (Gratuitous ARP) が送信されない
PD-3642	GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない
PD-4662	ある設定において、LDAP のヘルスチェックが断続的に問題を起こす
PD-4863	LoadMasterGEO のカスタムロケーションを無効にできない
PD-4865	一部のドメインにおいて、ロックされたユーザのロックを解除できない
PD-4964	RST テストユーザが設定されていると、RSA 認証が失敗する
PD-5020	"Real Server Check" (実サーバーチェック) パラメータの"Custom Headers" (カスタムヘッダ) フィールドに特殊文字を入力できない
PD-5416	ユーザが既存のセッションを持つ場合、新しい接続に対して ESA RSA が RSA パスフレーズを要求しない場合がある
PD-5420	"Not Available Redirection Handling" (利用不可時のリダイレクション処理) のエラーファイルを更新できない



19 リリース 7.1-28

ファームウェアバージョン 7.1-28 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 6 月 24 日にリリースされました。

19.1 新機能

- ESP の機能拡張 - 2 要素認証
- LoadMaster のクラスタリング - ベータ
- ESP の機能拡張 - NTLM のサポート - ベータ
- SNMP v3

19.2 機能拡張

- ベアメタルインストールプロセスを更新しました。
- SDN アドオンパックが更新され、モード 2 がサポートされました。
- ESP において、SSO フォームに関する設定可能なタイムアウトオプションが追加されました。
- WUI のセキュリティがさらに強化されました。
- セッションマネージャー機能の使い勝手が向上しました。
- RESTful API に、コンテンツスイッチに関するコマンドを追加しました。
- RESTful API に、管理用ゲートウェイ/インターフェイスの変更に関するコマンドを追加しました。
- RESTful API に、クライアント IP のサポートに関するコマンドを追加しました。
- RESTful API に、SDN アダプティブに関するコマンドを追加しました。
- PowerShell および Java の API に、ログイントランスコードオプションに関するコマンドを追加しました。
- 複数の宛先を持つ syslog を改善しました。
- WUI におけるアドオンパックのステータス表示を改善しました。
- 仮想サービスの接続数上限に達したときの通知を追加しました。
- ESP のログが改善され、ユーザによりどの URL がアクセスされているかが分かるようになりました。
- コンテンツルールのマッチフィールドのサイズを増やしました。
- バックアップ機能を改善し、SSO の画像を含めることができるようになりました。
- AWS の初期設定プロセスを改善しました。
- VMware Log Insight 2.5 がサポートされました。



リリース 7.1-28

- 仮ライセンスの設定に関するトラブルシューティングを改善しました。
- 2 要素認証のログインフォーマットを改善しました。
- RADIUS 共有シークレットの最大長を増やしました。
- RADIUS 共有シークレットに関するセキュリティを強化しました。
- 新しいソフトウェアが利用できるようになったことを示すアラート機能を改善しました。
- 新しい診断機能を追加しました。
- Java API のエラー処理を改善しました。
- RESTful API の Showvs コマンドの出力に、サブ VS のステータスを追加しました。
- AWS の SAN 認証処理を改善しました。

19.3 修正された問題

脆弱性 - XSS
PD-4195 貢献者 - Francesco Perna
(CVE に提出済み)

脆弱性 - XSRF
PD-4196 貢献者 - Francesco Perna
(CVE に提出済み)

脆弱性 - OS コマンドインジェクション
PD-4198 貢献者 - Francesco Perna
(CVE に提出済み)

脆弱性 - クロスサイトスクリプティングインジェクション
PD-4199 貢献者 - Roberto Suggi Liverani および Paul Heneghan
(CVE に提出済み)

PD-1677 RSA の設定に必要なノード秘密鍵と設定ファイルをアップロードするための RESTful API コマンドが使用可能になりました。

PD-3697 ESP SMTP に関する問題を修正

PD-4212 X-Forwarded_For のヘッダーインジェクションに関する問題を修正

PD-4305 RESTful API の listvs コマンドに対するリターンコードを改善

PD-4383 サブネットからの要求および再暗号化に関する問題を修正

PD-4385 SSO マネージャの安定性が向上



リリース 7.1-28

- PD-4519 WUI におけるアダプティブエージェント更新の問題を修正
 - PD-4528 IPsec 設定に関する入力エラー処理の問題を修正
 - PD-4529 Java API の SetParameter()メソッドの問題を修正
 - PD-4531 仮想サーバの IP 変更後に LoadMaster のデフォルトゲートウェイで発生する問題を修正
 - PD-4534 IPv6 のヘルスチェックに関する問題を修正
 - PD-4535 中間証明書の表示に関する問題を修正
 - PD-4542 FIPS 再暗号化 SSL を修正
 - PD-4543 FIPS 逆引き SSL を修正
 - PD-4559 PowerShell API における SNMP オプションの問題を修正
 - PD-4604 ユーザが診断シェルにアクセスできなくなる問題を修正
 - PD-4608 グローバルデフォルトゲートウェイを変更すると管理用 WUI にアクセスできなくなる問題を修正
 - PD-4629 SDN ビューのログ選択の問題を修正
 - PD-4648 カスタム画像セットのロングファイルネームに関する問題を修正
 - PD-4663 SDN コントローラ入力のエラー処理を改善
 - PD-4693 SDN アダプティブスケジューリングの問題を修正
 - PD-4704 IPsec 設定の PSK における特殊文字の問題を修正
 - PD-4710 IPv6 に関する RESTful API の modrs コマンドを修正
 - PD-4712 他の仮想サーバに関する証明書の削除の問題を修正
 - PD-4802 WUI における SDN の表示を修正
 - PD-4828 バックアップのセキュリティを強化
 - PD-4855 SDN のセキュリティを強化
 - PD-4884 GEO パートナーおよび HA の問題を修正
-



リリース 7.1-28

- | | |
|---------|---|
| PD-4917 | 32 ビットシステムにおけるホームページのグラフを修正 |
| PD-4954 | 実サーバのアダプティブ値を示す統計情報に関する問題を修正 |
| PD-4969 | アダプティブエージェントのテンプレート作成の問題を修正 |
| PD-5022 | WAF ルールのインストール効率が向上 |
| PD-5062 | SSO マネージャーログのセキュリティを強化 |
| PD-5119 | SSO マネージャの安定性が向上 |
| PD-3703 | SSO ドメインにおいて Logon Format (ログイン形式) が Username (ユーザー名) に設定されているとき、ドメイン¥ユーザー名の形式が機能しない問題を修正 |
| PD-4632 | SDN ログの日付ピッカーに関する問題を修正 |
| PD-5124 | パーシステンスおよび SubVS に関する問題を修正 |
-

19.4 既知の問題

- | | |
|---------|--|
| PD-3324 | R320 が正しくフェールオーバーしない場合がある |
| PD-3567 | IPV6 および追加アドレスを使用しているときに、IPv4 上で無償 ARP (Gratuitous ARP) が送信されない |
| PD-3642 | GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない |
| PD-5251 | GEO の "Miscellaneous Params" (その他パラメータ) 画面における一部のパラメータを WUI から設定できない。これらのフィールドのほとんどは、API で設定することで問題を回避できる。 |
| PD-4350 | WUI の一部の RADIUS フィールドを設定する際に問題が発生する場合がある。 |
-



リリース 7.1-26c

20 リリース 7.1-26c

ファームウェアバージョン 7.1-26c に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 5 月 20 日にリリースされました。

20.1 修正された問題

PD-4666 シングルサインオン (SSO) ドメインの設定に関する問題を修正

PD-4916 LoadMaster 機器の IRQ 負荷分散を強化する修正を実施



21 リリース 7.1-26

ファームウェアバージョン 7.1-26 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 5 月 1 日にリリースされました。

21.1 新機能

- Moodle のテンプレートをリリースしました。
- VMware View 6 のテンプレートをリリースしました。
- Microsoft SharePoint 対応の IPsec トンネリング
- ソフトウェア定義ネットワーク (SDN) のアダプティブアドオンパックの機能が拡張されました。

21.2 機能拡張

- Web アプリケーションファイアウォール (WAF) とともに動作する Kerberos Constrained Delegation (KCD) に関して修正された問題
- LoadMaster のコンソールおよび WUI 画面の著作権表示を更新しました。
- エッジセキュリティパック (ESP) 許可グループの障害に関するログを追加しました。
- HA モードにあるときに共有 IP アドレスから SNMP トラップを送信するオプションを追加しました。
- Java および PowerShell の API に、アドオンに関するコマンドを追加しました。
- RESTful、PowerShell、および Java の API に、アドオンに関するコマンドを追加しました。
- アプリケーションプログラムインターフェイス (API) に、IPsec トンネリングのサポートを追加しました。
- API にユーザ管理のサポートを追加しました。
- API に追加の統計情報のサポートを追加しました。
- RESTful API の権限の拡張
- ping デバッグオプションを改善しました。
- POST によるヘルスチェック文字数の上限を引き上げました。
- セッション管理のセキュリティを強化しました。
- Web ユーザーインターフェイス (WUI) のセキュリティを強化しました。
- クロスサイトリクエストフォージェリに関するセキュリティを強化しました。
- CVE-2015-0204、CVE-2015-0286、CVE-2015-0287、CVE-2015-0289、CVE-2015-0293、CVE-2015-0209、CVE-2015-0288 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。



21.3 修正された問題

PD-4285	サブ VS 画面から、無効なオプション（ポートフォロウイング）を削除
PD-4188	仮想サービスの統計レポートを改善
PD-4071	接続がタイムアウトする場合がある問題を修正
PD-3985	ActiveSync のログインに関するセキュリティを強化
PD-3910	一時ライセンスが LoadMaster のハードウェアに適用されない問題を修正
PD-3774	DNS ヘルスチェックに関する問題を修正
PD-3681	HTTP 転送エンコーディングが最大文字数に達する問題を修正
PD-3567	IPV6 の高可用性（HA）フェールオーバーを改善
PD-4118	個別の鍵ファイルとともに証明書をインポートできるように修正
PD-4212	X-Forwarded-For のヘッダーインジェクションに関する問題を修正
PD-4169	実サーバのパーシステンスに関する問題を修正
PD-4117	LoadMaster がロックアップする場合がある問題を修正
PD-4061	アクティブクッキーのパーシステンスに関する問題を修正
PD-3610	LoadMaster が突然再起動する場合がある問題を修正
PD-4481	LoadMaster の HA ユニットが応答しなくなる場合がある問題を修正
PD-3780	脆弱性 - サービス拒否攻撃 (DoS) の条件 貢献者 - Roberto Suggi Liverani および Paul Heneghan (CVE に提出済み)
PD-3781	脆弱性 - クロスサイトリクエストフォージェリ 貢献者 - Roberto Suggi Liverani および Paul Heneghan (CVE に提出済み)
PD-4484	富士通ベアメタルプラットフォームに LoadMaster をインストールできない問題を修正。



21.4 既知の問題

PD-3324	R320 が正しくフェールオーバーしない場合がある
PD-3567	IPV6 および追加アドレスを使用しているときに、IPv4 上で無償 ARP (Gratuitous ARP) が送信されない
PD-3682	仮想サービスの統計情報詳細が正しくない場合がある
PD-3642	GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない
PD-3703	SSO ドメインにおいて Logon Format (ログイン形式) が Username (ユーザー名) に設定されているとき、ドメイン¥ユーザ名の形式が機能しない場合がある
PD-4383	再暗号化を使用しているとき、サブ VS ごとのサブネット起源リクエスト (Per-SubVS Subnet Originating Requests) が機能しない
PD-4516	Centaur プロセッサがサポートされていない
PD-4531	仮想 IP アドレス変更後、稼働前のデフォルトゲートウェイが LoadMaster により無視される
PD-4648	SSO のカスタム画像の設定において、長いファイル名を持つ画像が機能しない
PD-4608	グローバルデフォルトゲートウェイを変更すると WUI にアクセスできなく場合がある
PD-4604	LoadMaster のコンソールにて診断シェルオプションにアクセスできない



リリース 7.1-24b

22 リリース 7.1-24b

ファームウェアバージョン 7.1-24b に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 3 月 3 日にリリースされました。

22.1 新機能

- フリー版 LoadMaster 製品

22.2 機能拡張

- CVE-2014-8500 の脆弱性を軽減するため、LoadMaster の BIND のバージョンを 9.9.6-P1 に更新しました。

22.3 修正された問題

PD-4042	ある状況において FIPSLoadMaster から Web ユーザーインターフェイス (WUI) へのアクセスが失われる問題を修正
PD-3911	Audit Only モードに設定したときに Web アプリケーションファイアウォール (WAF) がコンテンツをブロックする問題を修正
PD-3330	Form Based 認証を使用したときに URL が間違ってエンコードされる問題を修正
PD-3843	Web アプリケーションファイアウォール (WAF) のルールを更新すると LoadMaster のバックアップサイズが増加する問題を修正

22.4 既知の問題

PD-3156	Kerberos のチケットサイズによっては接続がドロップされる
PD-2586	仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
PD-1677	現在、RESTful API を使用して RSA の設定とノード秘密ファイルを LoadMaster にアップロードできない



リリース 7.1-24b

PD-3681 一部の有効な正規表現が構文エラーになる

PD-3333 ライセンス設定要求に時間がかかってタイムアウトする場合がある

PD-4118 鍵ファイルを別に持つ.pem 証明書をインポートすると、鍵ファイルが見つからないというエラーが発生する。回避策として、証明書と鍵を 1 つのファイルに結合し (cat コマンドを使用)、結合したファイルをアップロードする



23 リリース 7.1-24a

ファームウェアバージョン 7.1-24a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 2 月 11 日にリリースされました。

23.1 新機能

- VPN のトンネリングをサポート
- Log Insight アドオンパックを LoadMaster にデフォルトでインストール
- LoadMaster が SafeNet ハードウェアセキュリティモジュール (HSM) に対応
- LoadMaster の FIPS ソフトウェアが、現行の FIPS カードにおいて OpenSSL v1.0.1e をサポート
- OpenStack のサポートを追加

23.2 機能拡張

- SSL 再ネゴシエーションの無効化後に再起動する必要がなくなりました。
- LoadMaster の OpenSSL のバージョンが OpenSSL 1.0.1k に更新されました。
- SSL 仮想サービスのスレッド上限に達したとき、すべての仮想サービスにおける現在の接続数がログに表示されるようになりました。
- Netstat のログに、リッスンポート、iptables、NAT 情報が追加されました。
- セットアップ完了後、LoadMaster for Azure のコンソールに外部 IP アドレスが表示されるようになりました。
- 仮想サービス追加用の RESTful API コマンドが改善されました。

23.3 修正された問題

PD-3843 最新の Web アプリケーションファイアウォール (WAF) の安定性を向上

PD-3617 サブ VS が停止していてもそのサブ VS がパーシステンスを維持してしまう問題を修正

PD-3530 LoadMaster への EC 証明書のダウンロードをサポート



リリース 7.1-24a

PD-3037	LoadMaster for Azure に関し、障害発生後または再起動後に HA マスターユニットが復帰しない問題を修正
PD-2859	一部の HA バックアップが復元できない問題を修正
PD-3773	WAF が有効のときに推奨ホスト HA オプションを使用すると問題が発生していたのを修正
PD-3570	LoadMaster のバックアップファイルにホスト名情報を追加
PD-3467	パスワードのセキュリティ強度に関するメッセージを改善
PD-3404	LoadMaster のコンソールから顧客がサービスプロバイダーライセンス契約 (SPLA) にアクセスできない問題を修正
PD-3393	ピリオド (.) で始まる完全修飾ドメイン名 (FQDN) を削除できない問題を修正
PD-3306	静的経路に関するルーティングの問題を修正
PD-3299	カンマ (,) を含むユーザ名をユーザが変更/削除できない問題を修正
PD-3260	ホームページの統計グラフの保存に関する問題を修正
PD-3221	UTF8 文字を含むエッジセキュリティパック (ESP) パスワードに関する問題を修正
PD-3220	7.1-16 から 7.1-24 以降へのアップグレード時にポルトガルまたはフランス語圏カナダのイメージセットが割り当てられた場合でも、LoadMaster がデフォルトの Exchange イメージセットを使用してトラフィックを処理し続けるように変更
PD-3187	「リダイレクター」サブ VS を持つ仮想サービスのステータス表示に関する問題を修正
PD-2992	CPU 温度統計値の表示に関する問題を修正
PD-3161	逆引き SSL に関する問題を修正
PD-3176	TLStype RESTful API パラメータが保存されない問題を修正
PD-3160	modmap RESTful API コマンドに関する問題を修正
PD-3106	実サーバが無効のときに、RESTful API において仮想サービスのステータスが正しく更新されるように修正
PD-3104	addmap RESTful API コマンドがすべての場合で機能するように修正



リリース 7.1-24a

PD-3075 ModifyFQDN コマンドで isolateips パラメータを設定しようとすると大量のエラーメッセージが表示される問題を修正

23.4 既知の問題

PD-4042 FIPSLoadMaster をバージョン 7.0-10 から 7.1-24a に更新すると、WUI にアクセスできなくなる場合がある。ISO イメージから 7.1-24a をインストールする場合はこの問題は発生しない

PD-3156 Kerberos のチケットサイズによっては接続がドロップされる

PD-2586 仮想 IP の統計詳細情報が間違っている

PD-1677 現在、RESTful API を使用して RSA の設定とノード秘密ファイルを LoadMaster にアップロードできない。ただし、WUI ではアップロードできる

PD-3681 一部の有効な正規表現が構文エラーになる

PD-3333 ライセンス設定要求に時間がかかってタイムアウトする場合がある

PD-3330 ESP および URL の特殊文字に関する問題が存在する



リリース 7.1-22b

24 リリース 7.1-22b

ファームウェアバージョン 7.1-22b に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 12 月 3 日にリリースされました。

24.1 機能拡張

- SSL スレッドの上限に関するログを改善

24.2 修正された問題

PD-3287	ドレイン時間を待たずに接続がドレインされてしまう問題を修正
PD-3338	ユニフォームリソースアイデンティファイア (URI) 攻撃に対するセキュリティを強化
PD-3051	パケットフィルター有効時のルーティングおよびサーバ NAT に関する問題を修正
PD-2751	ActiveSync を Exchange 2013 と連動させたときに発生する問題を解決
PD-3349	4K の SSL 鍵により一部の HTTPS 仮想サービスがオフラインになる問題を修正

24.3 既知の問題

PD-2182	ESP に対して Permitted Groups が設定されている場合、ユーザ認証のために LoadMaster が子ドメインにコンタクトしたときに、間違った認証プロンプトがユーザに送信される
PD-2586	仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
PD-221	iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
PD-3161	リバース SSL が正しく機能しない
PD-3160	RESTful API の modmap コマンドにバグが存在する
PD-3106	実サーバが無効のとき、RESTful API において仮想サーバの状態が更新されない



リリース 7.1-22b

PD-3104	Selection Criteria を Real Server Load に設定すると、RESTful API の addmap コマンドが機能しない
PD-3075	PowerShell の ModifyFQDN コマンドで isolateips パラメータを設定しようとすると、大量のエラーメッセージが表示される
PD-2992	Statistics 画面の温度情報に、1 つの CPU の情報しか表示されない
PD-2893	LoadMaster WUI に同じテンプレートを再度アップロードできてしまう
PD-1677	現在、RESTful API を使用して RSA の設定とノード秘密ファイルを LoadMaster にアップロードできない。ただし、WUI ではアップロードできる



リリース 7.1-22

25 リリース 7.1-22

ファームウェアバージョン 7.1-22 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2014 年 11 月 25 日にリリースされました。

25.1 新機能

- ウェブアプリケーションファイアウォール (WAF)
- 新規テンプレート
- ウェブアプリケーションファイアウォール (WAF) の API コマンド
- API を用いたテンプレートのインポート
- 新規ヘルスチェック
- Azure の新しい課金オプション
- Akamai アドオンパック

25.2 機能拡張

- SSO ドメイン管理画面のレイアウトを改善しました。
- API コマンドを使用して仮想サービスと実サーバの状態を取得できるようになりました。
- ロシアのタイムゾーンデータを更新しました。
- アドオン名が、それを作成した LoadMaster のバージョンに基づく名前になりました。
- クラウドベースの仮想 LoadMaster が、与えられた FQDN に一致するウェブユーザーインターフェイス (WUI) 証明書を持つようになりました。
- ユーザをブロックする際、ログオン形式が異なってもユーザ名が同じであれば同じユーザとして扱うようになりました。
- Java API を使用して WUI の任意のポートを設定できるようになりました。
- GEO のセキュリティを強化しました。
- 同じ IP アドレスを持つ複数の仮想サービスを、GEO 実サーバ負荷クラスターチェックに追加できるようになりました。
- CVE-1999-0662 の問題を解決するため、BIND のバージョンを 9.9.6-ESV に更新しました。



リリース 7.1-22

25.3 修正された問題

- PD-2930 “Always check persist”オプションに関する問題を修正

 - PD-2786 ESP のログをクリアできない問題を修正

 - PD-2750 レイヤー4 仮想サービスを作成/編集すると接続がドロップされる問題を修正

 - PD-2719 ボンディングインターフェイスを持つユニットにおけるメモリの問題を修正

 - PD-2707 チェックサムが 0 の UDP パケットが LoadMaster により破壊されないように修正

 - PD-3086 “Use Address for Server NAT”およびサブ VS に関する問題を修正

 - PD-2767 許可されたグループが、ログイン時にプリンシパル名を使用できるよう修正

 - PD-2557 Microsoft (および他のベンダー) の RADIUS サーバと連動して RADIUS 認証を行うよう修正

 - PD-3023 パーシステンスとクッキーに関する問題を修正

 - PD-2656 RESTful API の aclcontrol コマンドが正しいユーザーパーミッションを使用するよう修正

 - PD-2574 非 ASCII 文字を含むパスワードにより引き起こされる問題 (ESP および ActiveSync に関する問題) を解決

 - PD-2756 GEO に関するいくつかのバグを修正。例えば、インターフェイスにて Use for GEO オプションが有効のとき、指定した追加アドレスにて GEO がリスンできるよう修正

 - PD-3199 以下のセキュリティリスクを軽減する対策を追加 – CVE-2014-3566 (“POODLE”).
-

25.4 既知の問題

- PD-2182 ESP に対して Permitted Groups が設定されている場合、ユーザ認証のために LoadMaster が子ドメインにコンタクトしたときに、間違った認証プロンプトがユーザに送信される

 - PD-2586 仮想 IP の統計詳細情報が間違っている

 - PD-221 iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない

 - PD-2751 フォームベースの認証で ActiveSync を使用すると、SSO ドメインの接続が時々ドロップされる
-



リリース 7.1-22

PD-3161	リバース SSL が正しく機能しない
PD-3160	RESTful API の modmap コマンドにバグが存在する
PD-3106	実サーバが無効のとき、RESTful API において仮想サーバの状態が更新されない
PD-3104	Selection Criteria を Real Server Load に設定すると、RESTful API の addmap コマンドが機能しない
PD-3075	PowerShell の ModifyFQDN コマンドで isolateips パラメータを設定しようとする、大量のエラーメッセージが表示される
PD-2992	Statistics 画面の温度情報に、1 つの CPU の情報しか表示されない
PD-2893	LoadMaster WUI に同じテンプレートを再度アップロードできてしまう
PD-1677	現在、RESTful API を使用して RSA の設定とノード秘密ファイルを LoadMaster にアップロードできない。ただし、WUI ではアップロードできる



26 リリース 7.1-20d

26.1 機能拡張

- 仮想 LoadMaster for Azure を Microsoft Gallery に含めることができるよう変更しました。
- シェルショックの脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

26.2 既知の問題

PD-2182	ESP に対して Permitted Groups が設定されている場合、ユーザ認証のために LoadMaster が子ドメインにコンタクトしたときに、間違った認証プロンプトがユーザに送信される
PD-2586	仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
PD-2656	RESTful API の aclcontrol コマンドが適切なユーザーパーミッションを持っていない
PD-221	iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
PD-2574	パスワードに一部の非 ASCII 文字が含まれていると、ESP や ActiveSync に問題が発生する
PD-2751	フォームベースの認証で ActiveSync を使用すると、SSO ドメインの接続が時々ドロップされる
PD-2750	他のレイヤ 4 仮想サービスを作成/変更すると、一部のアクティブなレイヤ 4 仮想サービスの接続が時々ドロップされる



27 リリース 7.1-20a

27.1 新機能

- LoadMaster に VMware vCenter Log Insight を組み込むための新規アドオンパック
- 新しい Log Insight アドオンを活用するための新規テンプレート
- 新しいベアメタルプラットフォームのサポート: 富士通 Primergy
- Kerberos Constrained Delegation (KCD) のサポート
- GEO リスンインターフェイス指定機能
- 複数のインターフェイスによる GEO 要求リスン機能
- GEO API コマンドを追加
- ウェブアプリケーションファイアウォール (WAF) - ベータリリース

27.2 機能拡張

- OpenSSL のバージョンが 1.01i にアップグレードされました。
- SSL/TLS の DHE 交換鍵の強度が強化されました。
- Manage SSO 画面に、新たに Domain/Realm フィールドが追加されました。
- WUI で使用される証明書に、Azure/AWS で使用される公開名を使用できるようになりました。
- Azure の新しい要件を実装

27.3 修正された問題

PD-2267	状況によって LoadMaster のログ作成プロセスがソリッドステートドライブ (SSD) を著しく消耗させる問題を修正
PD-2648	SSO マネージャに関するメモリの問題を修正
PD-2380	バックアップ成功通知のログレベルを変更
PD-2598	パーマネント ESP クッキーとサブ VS に関する問題を修正
PD-2559	SSL 仮想サービスがクラッシュすることがある問題を修正
PD-2485	Web ユーザーインターフェイス (WUI) における 100-Continue オプションを明確化



リリース 7.1-20a

PD-1728	端末サービスのパーシステンシーが正しく設定されない問題を修正
PD-1717	インターフェイスのアドレスを変更すると、LoadMaster をリブートするまで追加のアドレスが機能しなくなる問題を修正
PD-2349	HTTPS 情報を送信するためのヘッダ経由の再暗号化を作り直し
PD-2252	チェックされないインターフェイスが Gratuitous ARP を送信しない問題を修正
PD-2341	SNMP がサブ VS の正しい状態を通知しない問題を修正
PD-2466	HA の一部の静的設定が前の値に戻ってしまう問題を修正
PD-2310	ESP for SMTP が拡張 SMTP (ESMTP) のチャンキングを処理できるように修正
PD-2481	ワイルドカード仮想サービスに関するメモリの問題を修正
PD-2508	ESP グループが同じドメインの他の仮想サービスにアクセスできる問題を修正
PD-2560	より厳密に RFC に準拠するため、IMAP のヘルスチェックを強化
PD-2641	WUI SSL の暗号強度を強化
PD-2645	統計情報が適切な間隔で更新されない問題を修正
PD-2544	GEO のワイルドカード FQDN を編集できるように修正
PD-2536	Allow Administrative WUI Access オプションが、追加インターフェイスの HA 共有 IP アドレス上で正しく動作するように修正
PD-2253	HA アクティブユニットに関するメモリの問題を修正
PD-2101	AzureLoadMaster がリブート後に起動しない問題を修正
PD-2707	クライアントから送信されたチェックサムが 0 の UDP パケットがブロックされる問題を修正
PD-2887	証明書内のサブジェクト代替名 (SAN) が認証で使用されるように修正
PD-2897	ボンディングインターフェイスに関するメモリの問題を修正



27.4 既知の問題

- ESPに対して Permitted Groups が設定されている場合、ユーザ認証のために LoadMaster が子ドメインにコンタクトしたときに、間違った認証プロンプトがユーザに送信される
- 仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
- RESTful API の aclcontrol コマンドが適切なユーザーパーミッションを持っていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- パスワードに一部の非 ASCII 文字が含まれていると、ESP や ActiveSync に問題が発生する
- フォームベースの認証で ActiveSync を使用すると、SSO ドメインの接続が時々ドロップされる
- 他のレイヤ 4 仮想サービスを作成/変更すると、一部のアクティブなレイヤ 4 仮想サービスの接続が時々ドロップされる



28 リリース 7.1-18b

28.1 新機能

- VMware vCenter Operations Management Pack をリリース
- Azure ハイアベイラビリティ (HA) の機能拡張
 - a) Azure HA モードのヘルスチェック
 - b) Azure HA モードのリモート同期
 - c) Azure HA モードの WUI の変更
- GEO の機能拡張：フェールオーバーやパブリック/プライベートサイトの隔離を実現する GEO の新機能を追加しました。また、GEO の 2 つの選択基準オプションの名前を、その機能をより的確に表すものに変更しました ("Location Based"を"Proximity"に、"Regional"を"Location Based"に変更)。
- Hyper-V ツールのサポートを追加
- SNI ホスト名の新しい再暗号化オプション

28.2 機能拡張

- Exchange 2013 のテンプレートに Exchange 2013 SP1 を反映
- HTTPS 1.1 ヘルスチェックのホストヘッダーがサーバーネームインジケーション (SNI) のサーバ名として渡されるように変更
- 複数のインターフェイスにてウェブユーザーインターフェイス (WUI) にアクセスできるように変更
- CVE-2014-5287 および CVE-2014-5288 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。貢献者 - Roberto Suggi Liverani

28.3 修正された問題

PD-2270 AWS においてライセンス設定後に再起動が必要な問題を修正

PD-2292 VMware システムの L7 トランスペアレンシー/レイテンシーに関する問題を修正



リリース 7.1-18b

PD-2407	ウェブユーザーインターフェイス (WUI) において、一部のパーシステンスモードを選択できない問題を修正
PD-2421	VMware ワークステーション上で LoadMaster の OS がパニックになるのを防止
PD-2445	同じ IP とポートの組み合わせを使用する TCP 仮想サービスが存在すると UDP 仮想サービスが機能しなくなる問題を修正
PD-2365	LoadMaster for AWS に対し、Amazon のポリシーに関する改善を実施
PD-2183	セキュリティに関する問題を解決するため、WUI の入力をサニタイズする機能を追加 - CVE-2014-5287 と CVE-2014-5288 に関するセキュリティの修正
PD-2205	Windows 8.1 のリモートデスクトップサービスを有効にするため、許可された新規 HTTP メソッドを追加
PD-2131	LoadMaster の再起動を引き起こす可能性のあったレイヤー7 UDP サービスの問題を修正
PD-2120	レイヤー4 FTP に関する問題を修正
PD-2082	設定の自動バックアップで SSO の設定がバックアップされるように修正
PD-1939	設定の手動バックアップで SSO の設定がバックアップされるように修正
PD-2065	"Use Session or Permanent Cookies"という新しい ESP オプションを追加。SharePoint で ESP を正しく動作させるには、パーマネントクッキーを使用するようこのオプションを設定する必要がある
PD-2043	RESTful API の"ciphers"パラメータの最大文字数を 1023 に拡張
PD-1989	ESP オプションの"Logoff String"フィールドでアンダースコアを使用できるように修正
PD-1984	ロックされたユーザに関する偽のログメッセージを削除
PD-1972	SSL 再暗号化を有効にしたときに、各仮想サービスのサブネットを送信元とするアドレッシングが機能しない問題を修正
PD-1958	"Additional Headers"フィールドを表示すべきところで表示されていなかったシナリオで"Additional Headers"フィールドを追加
PD-1952	SSO ドメインの"Test User Password"フィールドにスペースを追加すると他のフィールドで問題が発生していたのを修正
PD-1936	HTTP POST のヘルスチェックですべての情報が実サーバに送信されるように修正



リリース 7.1-18b

PD-1935	削除した仮想サーバにより WUI に偽のメッセージが表示される問題を修正
PD-1932	ESP により有効なリクエストが拒否されることがある問題を修正
PD-1857	Exchange テンプレートを再構築
PD-1849	LDAP SSO ドメインの "Test User" フィールドでバックスラッシュを入力できるように修正
PD-1941	GEO クラスタ同期に関する不要なオプションを削除
PD-2309	キャッシュと圧縮を有効にしたときに、LoadMaster の内側にある Web サイトの応答が遅くなる問題を修正
PD-2275	スレッドカウントを増やしてスループットを改善
PD-2474	サブ VS が親の仮想サービス設定に基づき HTTP/HTTPS を決定するように変更

28.4 既知の問題

- GEO のヘルスチェック間隔が設定と異なる
- SNMP クライアントを設定するための RESTful API コマンドが、IP アドレスのみサポートしてホスト名をサポートしていない (WUI のオプションは両方をサポート)
- IPv4 のアドレスを編集すると、再起動するまで IPv6 のアドレスが応答しなくなる
- RSA の設定ファイルおよびノードシークレットファイルをアップロードするためのオプションが RESTful API インターフェイスに用意されていない (WUI からは実行可能)
- NTP ホストを設定するための RESTful API コマンドにおいて、設定すべき URL を指定できない



29 リリース 7.1-16b

29.1 新機能

- Amazon Web サービス (AWS) のサポートを追加

29.2 修正された問題

PD-2123 SSL/TLS MITM の脆弱性 (CVE-2014-0224) の修正。OpenSSL のバージョンを 1.0.1h に更新

29.3 既知の問題

- IPv4 のアドレスを変更すると、IPv6 で問題が発生する
- デフォルトゲートウェイが他のインターフェイス上にあるとき、SNMP にて LoadMaster をポーリングすると問題が発生する
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- "Real Servers are Local" オプションが期待どおりに動作しない



30 リリース 7.1-16

30.1 新機能

- サブスクリプションベースの LoadMaster の新しいオンラインライセンスモデルを実装
- レイヤー7 の UDP を完全サポート
- UDP レイヤー7 のパーシステンス
- LoadMaster OS が Linux kernel 3.10.28 上で動作
- サブ VS を持つ仮想サービスのコピーをサポート

30.2 機能拡張

- "SNMP Location"テキストボックスにてセミコロンが使えるようになりました。
- ある SSO ドメインのいずれかの仮想サービスにて ESP が無効になっているとき、その SSO ドメインを削除できるようになりました。
- HTTP の"report"メソッドがサポートされました。
- SSO のイメージセットを更新したとき、その変更が自動的に反映されるようになりました。
- RESTful API のエラーコードを更新しました。REST オブジェクトが存在しない場合は 404 エラーを返し、その他の場合は 200 とエラーコードを返します。
- RESTful API の GET レスポンスと該当する SET コマンドとの整合性が確保されました。
- Websocket 接続をサポート
- "Always Check Persist"フィールドに新しいオプションが追加されました。これにより、接続の途中でもパーシステンスの変更を保存できるようになりました。
- テンプレートにおいて、コンテンツ規則を持つサービスを再利用できるようになりました。
- ユーザが LDAP サーバの代替ポートを指定できるようになりました。

30.3 修正された問題

PD-1746 圧縮に関する統計情報が負の値になることがある問題を修正

PD-1704 ウェブユーザーインターフェイス (WUI) において、仮想サービスに対して 510 個を超えるポートを設定できてしまう問題を修正



リリース 7.1-16

PD-1678 セキュリティの脆弱性に関する問題を修正

PD-1676 ドメイン名を持つ実サーバの無効化に関する問題を修正

PD-1430 SSL 再暗号化が有効になっている仮想サービスを使用して、ユーザが Sorry サーバを利用できるように修正

30.4 既知の問題

- IPv4 のアドレスを変更すると、IPv6 で問題が発生する
- デフォルトゲートウェイが他のインターフェイス上にあるとき、SNMP にて LoadMaster をポーリングすると問題が発生する
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- "Real Servers are Local" オプションが期待どおりに動作しない



31 リリース 7.0-14c

31.1 修正された問題

PD-1754	OpenSSL 版のバージョンを 1.0.1g にアップグレードし HeartBleed のバグによる脆弱性を解決
PD-1702	グループパーミッションを使用し、同じ SSO ドメインを使用している複数の仮想サービスに関する問題を修正
PD-1705	ハイアベイラビリティ (HA) のボンディングに関する問題を修正
PD-1706	SMTP サービスにて ESP を有効にしたときに誤ったエラーメッセージが表示されないように修正
PD-1709	LDAPS/LDAP StartTLS の認証プロトコルおよび SSO サーバに関する問題を修正
PD-1714	ESP が有効な SMTP サービスがトラフィックを正しく渡せるように修正

31.2 既知の問題

- Hyper-V 仮想 LoadMaster (VLM) において、マシンを再起動するまで代替 NIC IP アドレスが正しく設定されない
- シングルユニットから HA モードに切り替える際、HA 設定時にローカル IP を変更すると WUI との通信が切断される
- ブロックされたユーザのリストにおいて、同じユーザが複数表示される場合がある
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- 既存の仮想サービスがテンプレートを使用して作成されたものである場合、テンプレートから Exchange Virtual Service をインストールできない



32 リリース 7.0-14a

32.1 新機能

- RSA の複数要素認証をサポートしました。

32.2 既知の問題

- Hyper-V 仮想 LoadMaster (VLM) において、マシンを再起動するまで代替 NIC IP アドレスが正しく設定されない
- シングルユニットから HA モードに切り替える際、HA 設定時にローカル IP を変更すると WUI との通信が切断される
- ブロックされたユーザのリストにおいて、同じユーザが複数表示される場合がある
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- 既存の仮想サービスがテンプレートを使用して作成されたものである場合、テンプレートから Exchange Virtual Service をインストールできない



33 リリース 7.0-14

33.1 新機能

- ソフトウェアアップデートのオンラインチェック
- アドオンパッケージのサポート
- VMware ツールのサポート
- 第 2 フェーズのエッジセキュリティパック (ESP) のサポート
 - カスタマイズ可能なログインフォーム
 - ESP ログインフォームのパブリック/プライベートオプション
 - ユーザのソフトロックのサポート
 - ESP の許容負荷の増大
 - 認証サーバに対して RADIUS を選択可能
- Amazon Web サービス (AWS) 用 LoadMaster
- VMware Horizon Workspace 用テンプレートのサポート

33.2 機能拡張

- ローカルコンソールにてパスワードをリセットする際の情報を追加
- Web ユーザーインターフェイス (WUI) におけるレガシーハートビートオプションの表示を非表示に変更
- SNI の設定においてワイルドカード認証の照合を追加

33.3 修正された問題

-
- | | |
|--------|--------------------------------------|
| PD-890 | 自動バックアップのパスワードで非英数字を使用したときに発生する問題を修正 |
|--------|--------------------------------------|
-
- | | |
|---------|--|
| PD-1200 | メモリが大きい LoadMaster にて高いキャッシュ使用率を設定したときに発生する問題を修正 |
|---------|--|
-
- | | |
|---------|----------------------------|
| PD-1284 | 実サーバを無効にしたときの統計情報に関する問題を修正 |
|---------|----------------------------|
-
- | | |
|---------|---|
| PD-1498 | HA の推奨ホストを使用すると両方のユニットがスタンバイになることがある問題を修正 |
|---------|---|
-



リリース 7.0-14

PD-1404	サブ VS が "Use of SNAT" (SNAT を使用) 設定を受け付けるように修正
PD-1452	間違った機器にバックアップが復元される (例えば、HA のバックアップがシングルシステムに復元される) のを防ぐように修正
PD-1539	HA に関するいくつかの小規模な問題を修正
PD-1206	SNMP およびサブ VS に関する問題を修正

33.4 既知の問題

- Hyper-V 仮想 LoadMaster (VLM) において、マシンを再起動するまで代替 NIC IP アドレスが正しく設定されない
- シングルユニットから HA モードに切り替える際、HA 設定時にローカル IP を変更すると WUI との通信が切断される
- ロックされたユーザのロックを解除する機能が動作しないブラウザがある (Chrome と Internet Explorer で問題が発生する)
- ブロックされたユーザのリストにおいて、同じユーザが複数表示される場合がある
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- 既存の仮想サービスがテンプレートを使用して作成されたものである場合、テンプレートから Exchange Virtual Service をインストールできない



34 リリース 7.0-12a

バージョン 7.0-12a 以降の LoadMaster では、LM-2500 および LM-3500 をサポートしていません。これらのモデル、および FIPS モデルは、バージョン 7.0-10 以前でサポートしています。

34.1 新機能

- SSL のパフォーマンス最適化
- Oracle Sun x86 サーバのサポート
- HP ProLiant サーバのサポート
- VMWare vSphere 5.5 のサポート
- ライセンスに関する情報を LoadMaster の WUI ホーム画面に表示可能になるなど、自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャーに対してさまざまな機能が追加され、LoadMaster のライセンス機能が強化されました。
- Windows 2012 R2 Hyper-V 仮想 LoadMaster (VLM)
- アイドルタイムアウトとセッションタイムアウトが設定可能となり、アイドルタイムアウトとセッションタイムアウトを切り替えられるようになりました。

34.2 機能拡張

- RESTful API にコマンドと機能を追加
- バックアップファイルにライセンス情報を追加

34.3 修正された問題

PD-797	ライセンス更新後に発生するパケットルーティングフィルターに関する問題を修正
PD-839	SNMP トラップ生成を拡張するための設定変更を行う改善されたレイヤー 4 処理を追加
PD-934	サブ VS 間におけるパーシステンシーの共有に関する問題を修正
PD-1023	大量のインターフェイスを追加したときに発生する HA フェールオーバーに関する問題を修正



リリース 7.0-12a

PD-1043	アクセスコントロールリストおよび IPv6 に関する問題を修正
PD-1070	HA の'Forced Switchover'機能を削除
PD-1089	新規サーバにおける Use Address for Server NAT (サーバ NAT のアドレスを使用する) オプションに関する問題を修正
PD-1094	RESTful API を使用して適応スケジューリングを用いた仮想サービスを作成する際に発生する問題を修正
PD-452	Hyper-V VLM における VLAN トランクに関する問題を修正
PD-1174	セキュリティの脆弱性 (CVE-2004-0230) を修正。セキュリティテストを実行するとこの脆弱性がレポートされるが、これは、セキュリティテストがカーネルのバージョンをチェックするためである。この修正は LoadMaster にバックポートされているが、カーネルのバージョンは更新されていない。そのため、この問題は既に存在していないにもかかわらず、この脆弱性がレポートされる
PD-1144	Exchange 2013 にてカレンダーを公開する際に発生する ESP に関する問題を修正

34.4 既知の問題

- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- HA ペアのいずれのユニットにもネットコンソール IP が直ちに適用されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- IP アドレスを DHCP のみから取得した場合、HA の共有/パートナー IP アドレスを直ちに設定できない。この問題を回避するには、IP アドレスを再度設定する
- 代替アドレスとして IPv6 を追加し、IPv6 仮想サービスを作成し、アクセスコントロールリストを作成したときに、再起動をする必要がある。アクセスコントロールリストにエンTRIESを追加する前に再起動する必要がある
- GEO LM において、DNS リクエストを受信するためのインターフェイスの代替アドレスを指定できない
- 仮想 LoadMaster において、マシンを再起動するまで代替 NIC IP アドレスの設定が反映されない



35 リリース 7.0-10i

35.1 修正された問題

PD-3643 POODLE の脆弱性を軽減するため、暗号リストを RC4-SHA に制限

35.2 既知の問題

- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- 特殊な条件において、暗号化用 ASIC ドライバで一時的な問題が発生する



36 リリース 7.0-10h

36.1 修正された問題

PD-3146 以下のセキュリティリスクを軽減する対策を追加 – CVE-2014-3566 (“POODLE”)

PD-3201 SSL の弱い暗号化方式を無効にできるオプションを追加

36.2 既知の問題

- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない



37 リリース 7.0-10g

37.1 修正された問題

PD-2976 以下のセキュリティリスクを軽減する対策を追加 – CVE-2014-6271 および CVE-2014-7169

37.2 既知の問題

- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない



38 リリース 7.0-10f

38.1 修正された問題

PD-2274	状況によって LoadMaster のログ作成プロセスがソリッドステートドライブ（SSD）を著しく消耗させる問題を修正
PD-2376	セキュリティを強化するために、Web ユーザーインターフェイス（WUI）における入力をサニタイズする機能を追加 – CVE-2014-5287 および CVE-2014-5288 に対する修正

38.2 既知の問題

- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない



39 リリース 7.0-10e

39.1 修正された問題

PD-2123 CVE-2014-0224 に関するセキュリティの修正

39.2 既知の問題

- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない



40 リリース 7.0-10d

40.1 修正された問題

PD-1413	CVE-2004-0230 に関するセキュリティの修正
PD-1487	ESP に対する XSS 攻撃に関するセキュリティの修正
PD-1617	ドライバ更新:ixgbe ドライバを 3.18.7 に更新
PD-1925	HA スタンバイユニットを設定するとサービスが停止する可能性がある問題を修正
PD-1931	偽のメッセージが表示される問題を修正
PD-1965	ESP 仮想サービスへのログインがブロックされる可能性がある問題を修正

40.2 既知の問題

- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない



41 リリース 7.0-10

41.1 新機能

- Lync 2013 テンプレート
- Windows 2012 Hyper-V 仮想 LoadMaster (VLM)
- Windows 8 Hyper-V 仮想 LoadMaster (VLM)

41.2 機能拡張

- RESTful API にコマンドを追加
- WUI 内のハイパーリンクから、HA ペアの他のユニットへの WUI 接続をオープン可能
- ALSI への拡張機能を実装
- 統計情報の収集機能を設定可能
- UDP サービスの 'Sorry サーバ' が利用可能

41.3 修正された問題

PD-536	実サーバの無効化に関する問題を修正
PD-537	セッションモードでないときの RADIUS 認証に関する問題を修正
PD-544	実サーバの統計情報の表示における軽微な不一致を修正
PD-557	L7 ドレイン時間に関する問題を修正
PD-570	圧縮可能なファイルサイズの上限を設定
PD-643	HTTP 1.1 の PATCH メソッドをサポート
PD-645	'SuperHTTP またはソース IP アドレス' パーシステンメソッドの処理に関する問題を修正
PD-769	Add HTTP Headers フィールドの表示/非表示に関する不一致を修正
PD-774	UDP の 'Sorry サーバ' に関する問題を修正
PD-785	SSO の挨拶メッセージにおける特殊文字の使用に関する問題を修正



リリース 7.0-10

PD-787 フラグに応じて動作する機能に関する問題を修正

PD-790 LoadMaster により開始された接続における TLS 1.0 のサポートに関する問題を修正

PD-791 返信された SNMP 値のポート番号に関する問題を修正

41.4 既知の問題

- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない



42 リリース 7.0-8e

42.1 機能拡張

- 自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャー (ALSI) の機能拡張

42.2 修正された問題

PD-675	LM-5305-FIPS で利用可能な TLS 暗号スイートを修正
PD-708	LM-5305-FIPS における SSL 再暗号化の動作を修正
PD-700	サービスの種類を変更したときのレポートの問題を修正
PD-739	SSO パスワードにて追加の特殊文字が利用できるように修正
PD-758	SSO の初回ログイン時にクエリ文字列がサーバに正しく渡されなかった問題を修正
PD-581	SSO の挨拶メッセージにて “ の文字を使用できるように修正

42.3 既知の問題

- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- .ovf ファイルを展開する際に警告が表示される（この警告は無視可能）
- 特殊な条件において、暗号化用 ASIC ドライバで一時的な問題が発生する
- 実サーバの統計情報を正しく更新できない
- 実サーバを無効化する際に一時的な問題が発生する
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない



43 リリース 7.0-8a

43.1 機能拡張

- 自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャーの機能拡張

43.2 修正された問題

PD-415 SSOMGR に関する問題を修正

43.3 既知の問題

- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- .ovf ファイルを展開する際に警告が表示される（この警告は無視可能）
- 特殊な条件において、暗号化用 ASIC ドライバで一時的な問題が発生する
- 実サーバの統計情報を正しく更新できない
- 実サーバを無効化する際に一時的な問題が発生する
- SSO の挨拶メッセージに “ の文字を入力できない
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない



44 リリース 7.0-8

44.1 新機能

- 自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャー
- Cisco UCS C シリーズのサポート
- Geo サーバの負荷分散機能パック
- 新しい仮想 LoadMaster 製品

44.2 機能拡張

- ESP 用の設定可能なログインフォーマット

44.3 修正された問題

PD-154	SNMP コミュニティ文字列で使用可能な文字を追加
PD-188	CLI におけるクイックセットアップヘルプの自動ポップアップに関する問題を修正
PD-327	サイズが小さいコンテンツの圧縮に関する問題を修正
PD-335	SNMP と '失敗時にドロップ' を同時に使用したときに発生する問題を修正
PD-336	LoadMaster 設定ビューアーに関する問題を修正
PD-341	ソフトウェア FIPS を使用中に WUI へアクセスしたときに発生する問題を修正
PD-386	接続ドレイン時間中に、パーシステンスを有効にした状態で仮想サービスに接続できるように修正
PD-389	Exchange Wizard に関する軽微な問題を修正
PD-393	負荷が与えられている状態で VLAN を作成したときに発生する HA の問題を修正
PD-401	ESP のログに関する問題を修正
PD-414	サブ VS の重み付けに関する問題を修正
PD-437	ライセンス設定用プロブを含む E メールを転送する際に発生する問題を修正



リリース 7.0-8

PD-446	LoadMaster2200 に高い負荷が与えられたときに発生する問題を修正
PD-449	大量の仮想サービスを含む構成にて認証マネージャで発生する問題を修正
PD-550	ソースファイルに mail_util.php を追加

44.4 既知の問題

- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- .ovf ファイルを展開する際に警告が表示される（この警告は無視可能）
- 特殊な条件において、暗号化用 ASIC ドライバで一時的な問題が発生する
- 実サーバの統計情報を正しく更新できない
- 実サーバを無効化する際に一時的な問題が発生する
- SSO の挨拶メッセージに “ の文字を入力できない
- HA の 'Force Switchover' ボタンが正しく機能しない
- 特殊な条件において、SSOMGR のセグメンテーション違反がまれに発生する



45 リリース 7.0-6

45.1 新機能

- Quickstart Wizard – Exchange 2010
- RESTful API v.2.0
- Cisco UCS B Series Support
- Call Home - Phase 1

45.2 機能拡張

- 証明書をインストールまたは置き換えた後に、Virtual Service のページに戻れるようになりました。
- 仮想サービスにてサービス品質 (QoS) を設定できるようになりました。
- ESP のログイン画面における画像セットに関して、各種言語がサポートされました。
- 本日のメッセージにおける文字数の上限が拡大されました。
- 一時ライセンスを適用しようとしたとき、そのライセンスが既に適用されている場合はフィードバックが表示されるようになりました。
- デバッグオプションで traceroute および netstat のユーティリティを利用できるようになりました。
- 実サーバを一括で無効化できるようになりました。
- 親仮想サービスが、再暗号化を用いた SSL アクセラレーションを使用している場合、サブ VS にて L7 トランスパレンシーを選択できるようになりました。

45.3 修正された問題

PD-371, PD370	64 ビット版の LoadMaster にて eth0 を設定する際に発生する問題を修正
PD-293	ID 1 を持つ VLAN の作成に関する制限を解除
PD-270	セキュリティダウンの状態 で VS を削除する際に発生する問題を修正
PD-263	HA のタイムアウト値に関する問題を修正
PD-257	ESP が有効な仮想サービスに対するヘルスチェックに関する問題を修正



リリース 7.0-6

PD-247	CPU を節約するために、Collect All WUI オプションで指定されない限り、Home ページに表示される項目のみ統計情報を収集するように修正
PD-246	ポートフォロ잉に関する問題を修正
PD-231	追加ポートに仮想サービスを設定したときに、ACL が期待通りに動くように修正
PD-230	LoadMaster for UCS の最大キャッシュサイズの初期値が有効範囲内になるように修正
PD-188	LoadMaster のコンソールにおけるクイックヘルプの不適切な呼び出しを修正
PD-157	リポート前の HA 設定プロセスにて共有インターフェイスを設定できるように修正
PD-140	適応ヘルスチェックに失敗したときに実サーバを無効にするよう修正
PD-205	SNORT 2.9 の規則が正しくインポートされるように修正

45.4 既知の問題

- 圧縮を使用しており、なおかつ HTTP コンテンツの長さが 0 バイトのとき、ページが表示されない。
- Drop at Drain Time End オプションを有効にすると、SNMP トラフィックで問題が発生する場合がある



46 リリース 7.0-4

46.1 新機能

- エッジセキュリティパック
- サブ VS のサポート
- Graphical Metrics 3. グラフィカルメトリックス
- 新しいライセンスフォーマット
- Oracle VirtualBox VLM

46.2 機能拡張

- MIB ファイルを更新
- IPS のログに SIP とリビジョンの情報を追加
- インターフェイスごとに VLAN を分割
- 大きな TCP ウィンドウサイズをサポート
- 全ての LoadMaster で 'Kill スイッチ' をサポート
- LM-R320 のシリアル番号を WUI に表示
- ネットコンソールホストインターフェイスが WUI から設定可能

46.3 修正された問題

1850	クライアントが EHLO を送信したときに SMTP STARTTLS で発生する問題を修正
2325	ACL ホワイトリストが他の IP を許可していた問題を修正
2584	負荷が与えられている状態で VS の種類を切り替えたときに発生する問題を修正
2669, 2556	レポートに関する問題を修正
2657	Firefox におけるキャッシュの問題を修正
2788	DNS 検索ドメインにて“-“の文字が使用できなかった問題を修正
2598	MIBS に関する問題を修正



リリース 7.0-4

2675	循環ルーティングに関する問題を修正
2278	SNMPトラップのソース IP を、リリース 5.1-48 以前の動作に変更
2328	SSL 再ネゴシエーションのオン/オフを切り替えられるように変更
2528	LoadMaster により開始された SSL 接続にて SSLv2 を使用しないように変更
2578	Not Available Redirection XSS に関する問題を修正
2599	DHCP の処理に失敗したときに、デフォルトの IP を WUI に表示するように変更
2390	VS 用に挿入された X クライアントサイドのヘッダがシステムのデフォルト値に書き換えられてしまう問題を修正
2475	User Login フィールドにて“-“の文字が使用できなかった問題を修正
2529	Fail on Match 機能に関する問題を修正
2671	最大キャッシュサイズに関する問題を修正

46.4 既知の問題

- LM にて IP アドレスが設定されておらず、eth0 にて VLAN が設定されており、その下にあるインターフェイス (eth0) に IP アドレスが割り当てられていない場合、クイックセットアップヘルプが自動的に表示される



Document History

Date	Change	Reason for Change	Ver.	Resp
Feb 2017	Release updates	Release 7.2.37.1	20.0	LB
Mar 2017	Release updates	Release 7.2.38	21.0	LB
Apr 2017	Minor updates	Enhancements made	22.0	LB
Apr 2017	Release updates	Release 7.1.35.3 (LTS)	23.0	LB
Apr 2017	Minor updates	Additional fix added	24.0	LB
May 2017	Minor updates	Additional fix added	25.0	LB
Aug 2017	Release updates	Release 7. 2.39	26.0	LB
Oct 2017	Release updates	Release 7. 2.40	27.0	LB

